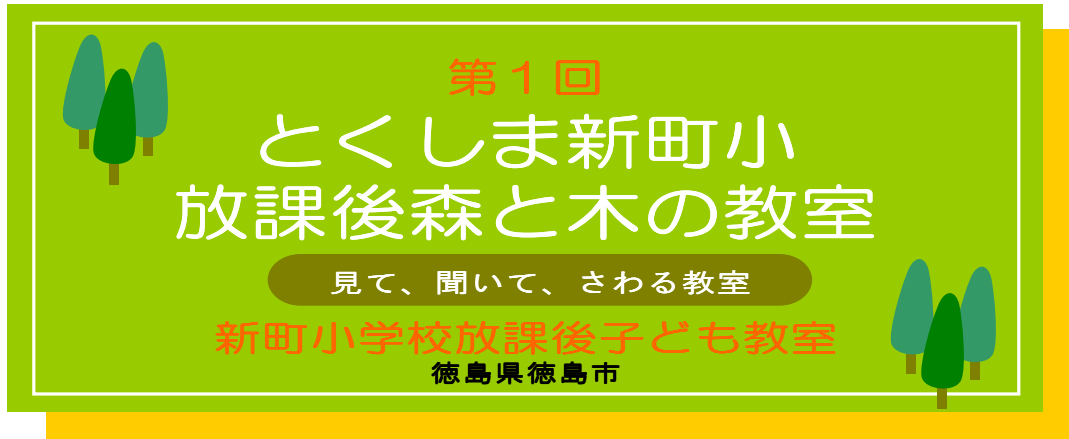


①-2：第一回「とくしま 新町小 放課後森と木の教室」



第1回
とくしま新町小
放課後森と木の教室
見て、聞いて、さわる教室
新町小学校放課後子ども教室
徳島県徳島市

事業のねらい

放課後子ども教室の子どもたちに、徳島県の豊かな森林資源がどのように活用され、人の暮らしを支えたのか。そして、人間にとって森や木がどれほど大切なものなのかということを知りながら、専門家のお話や木の実物に触れながら体験しながら学ぶ。

実施日

平成20年11月14日(金) 14時30分～16時30分

参加者

新町アフタースクール
児童15名(小一1名、小二9名、小三3名、小五2名)
教室スタッフ 名(安全管理員 名、学習アドバイザー 名)
保護者 名

スケジュール

活動内容

14:30
スタート

①「本日の予定」、「見どころ、聞きどころ」などの説明

子どもたちに今日の教室の内容を説明し、お話をさせていただく先生方(2名)とそのお手伝いをする担当者を紹介しました。



14:50
吉塚先生
のお話

②吉塚先生のお話 「共に生きる人と森」「木を育てるために」

上勝町の高丸山と森や木の大切さやすばらしさ、そしてその森の木を守るために、草刈り作業をがんばる人々について吉塚先生からお話を聞きました。



15:10
田上先生
のお話

③山の楽校 田上校長先生のお話 「人と森のかかわり」

田上先生のお話をみんなで聞きました。



プロフィール

田上幸輝(たうえゆきてる)
平成 17 年に上勝町の廃校を
を活用した体験交流施設「山の楽校」校長



15:25
休憩

「人と森のかかわり」



山の楽校 校長 田上幸輝氏

人は森なしでは生きられません。森には、木や動物、鳥、虫、植物などたくさんの生きものがいて、さまざまな役割をしています。木は、山に降る雨を空に伸びている枝や葉っぱで受け止め、それが幹をつたって地面にしみこみます。その地面にしみこんだ雨が川になり、人がその水を飲んだり、生活に使ったりしているのです。

また、森には木に悪い虫もいます。しかし、木は地面に根をはっているために虫から逃げられません。そこで木は「フィトンチット」という殺虫剤のような香りの成分を出します。森をながめるとき、青いモヤが見えることがありますが、それが、「フィトンチット」です。虫よけですが、人にとってはこの香りの成分は、とても体によいもので、リラックスできます。

地中にはミミズがいますが、木や土にとって大切な生き物です。ミミズは1年中土の中において、動物の死骸などのゴミや落ち葉をせっせと食べてお掃除をします。そして、ミミズは小さな体で1年間に3トンものフンを出します。このミミズのフンによって養分がたくさん含まれる土になります。この栄養豊富な土で木や植物が大きく育ちます。

このように、森は水や空気をつくり出す工場のようなはたらきをしているのです。

わたしたちは、森のめぐみに感謝の気持ちを持ち、そしてこれからも大切に守っていかなくてははいけません。



15:30
木のおもちゃ
にふれる

④木のおもちゃや道具にふれてみよう

田上先生手づくりのつみ木、からくりおもちゃ、竹細工などで遊びました。



15:45
黒河社長
のお話

⑤デザイナー黒河社長のお話「くらしの木をいかす」

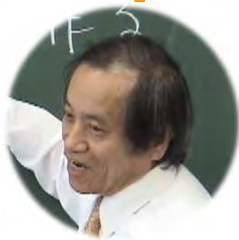
黒河先生の木のデザインのお話やデザインした作品にふれてみました。

「くらしの木をいかす」



株式会社アワード社長 黒河昭一氏

人は動物と違い、「考えること」、「つくる」ことができます。
デザインという仕事は、この2つがいっしょになったとても楽しい仕事です。
わたしは木を使っていろいろなもの考えつくるデザイナーです。
20年前に徳島市で徳島の産業を活性化するデザイン会社をつくることになり、社長として、全国からデザイナーを募集しました。130人の応募者の中から選ばれて、東京から徳島にきました。今はその会社でデザイナーとして多くの作品をつくっています。徳島の杉などを使って椅子などの様々な家具をつくっています。また、昔、徳島ではお花見やひな祭りに使っていた遊山箱という手提げのお弁当箱も桐の木で現代風にアレンジしてつくっています。いろいろな木がありますが、どの木もよいところと、むずかしいところがあって、それをどんな風に使って、何をつくろうかと考えるのが楽しいです。また、木には金属などの素材にはないやさしいぬもりがあります。ですから、わたしはこれからも木をつかっていきたいと思っています。そのためにも、森や木を大切に守ってほしいと思います。
また、徳島に伝わる藍染めで木材を染めたり、Kamiwaza Coreという紙製の芯材を活用した軽くて丈夫な素材の開発にも挑戦しています。
いろいろなものを考え、つくるデザインの仕事は、本当にやりがいのある仕事です。わたしはデザイナーになってよかったと思っています。みなさんも、将来なりたい職業があると思いますが、そのためには、一生懸命、勉強をして色々な体験をしてください。そうすれば、必ず、その職業につくことができます。



プロフィール

黒河昭一（くろかわしょういち）
株式会社アワード代表取締役社長
徳島特産素材と技術を活用した商品開発、デザインを手掛けている。



黒河先生デザインの遊山箱



16:15
まとめ

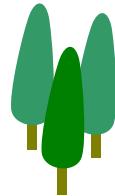
16:30
終了

⑥まとめ(感想)、第2回の案内、お礼

最後に子どもたちには、今日の感想を含めてアンケートを書いてもらいました。第2回「とくしま放課後放課後森と木の教室」は、12月5日(金)14:30~16:30で開催し、木の貯金箱やおもちゃをつくることをお知らせして、参加を呼びかけました。



感想 & 意見



①吉塚先生のお話について

- もっとお話をしてもらいたい。
- すごいと思った。



②田上先生のお話について

- いろいろなことがわかった。
- おもしろかった。
- もっと聞きたかった。(多数)
- すごくわしかった。



③木のおもちゃとあそんで

- おもしろかった。
- 楽しかった。
- もっと遊びたかった。
- 木のおもちゃをこんなふうを使うとは思わなかった。



④黒河先生のお話について

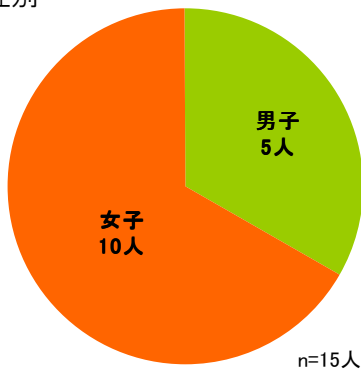
- いろいろなことがわかってよかった。
- おもしろかった。
- 楽しかった。
- あんな椅子がつくれるといいな。
- デザインはとてもむずかしいんだと思いました。
- 勉強になった、もっと聞きたい。
- 椅子が丈夫にできていた。すごかった。



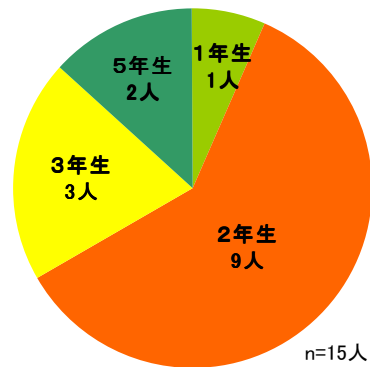
アンケート結果

子どもたちがどれくらい徳島市の森や木のこと、木に関わる工場のこと、上勝町のことなどを知っているかアンケートに答えてもらいました。少し、難しかったようですが、がんばって回答してくれました。結果は下記の通りです。

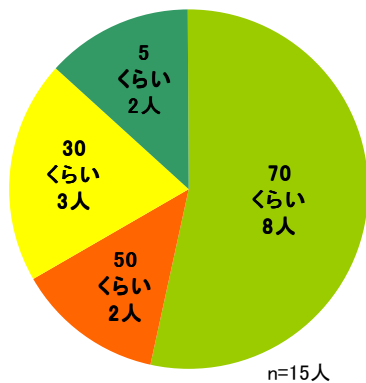
性別



学年

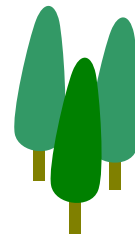


徳島市の森林の広さ

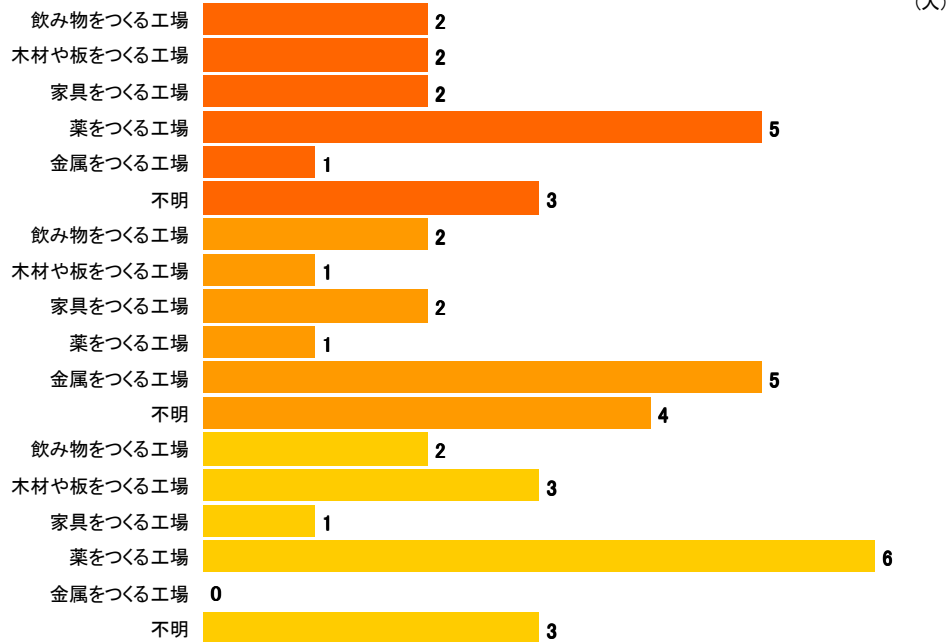


徳島市の森林の広さについては、半数人の子どもたちが 70 くらいと答え、一番多かったです。

正しいのは、3番の 30 くらいです。実際の森林の広さは徳島市の面積の 27%です。3番と答えた子どもは 3 人いました。

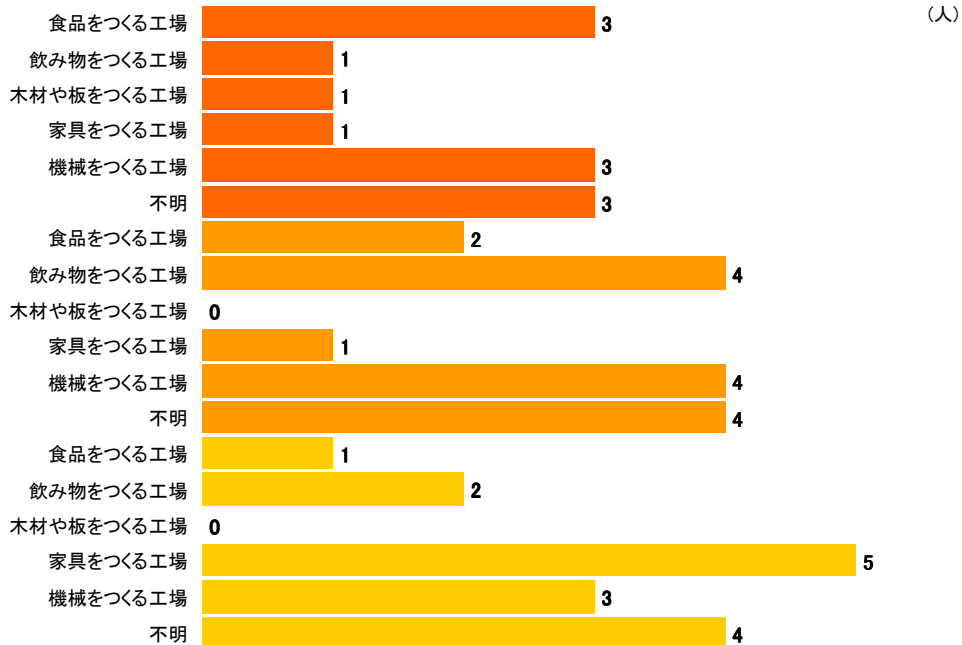


徳島市に多くある工場



2位は薬をつくる工場、3位は金属をつくる工場、4位は薬をつくる工場という回答が多かったです。
正解は、2位は家具をつくる工場、3位は木材や板をつくる工場、4位は金属をつくる工場でした。

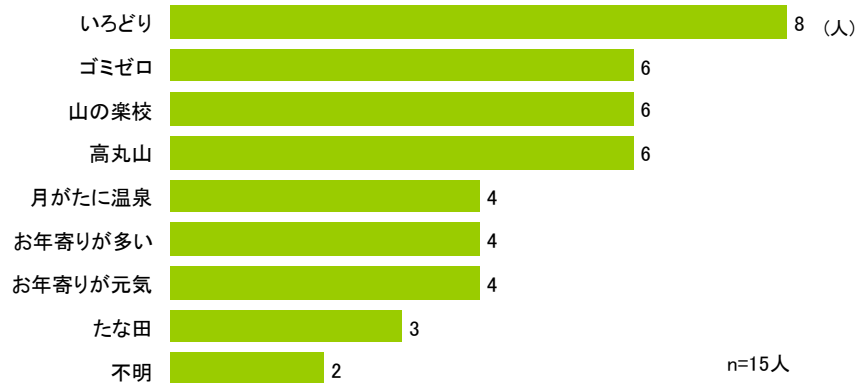
徳島市でお金をかせぐ工場



2位は家具をつくる工場、3位は飲み物をつくる工場と機械つくる工場、4位は家具をつくる工場という回答が多かったです。

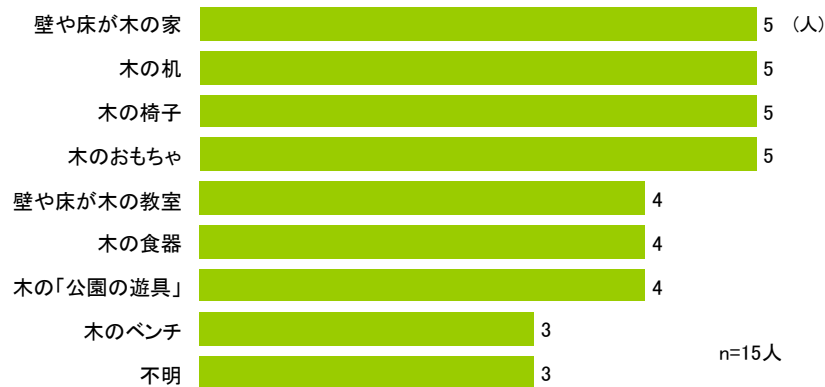
正解は、2位が食品をつくる工場、3位が飲み物をつくる工場、4位が機械をつくる工場でした。

🍁 上勝町で知っていること



上勝町のことで「いろいろ」について、以前から知っているがという答えが多かったです。
今回のテーマにもなった「高丸山」や「ゴミゼロ」、「山の楽校」が次に多かったです。

🍁 木のできたらいいもの



🍁 その他一木のできたらいいもの

木のかさ、ジャングルジム、筆ばこ、ゲーム、かばん、めがねのフレーム

ふりかえって

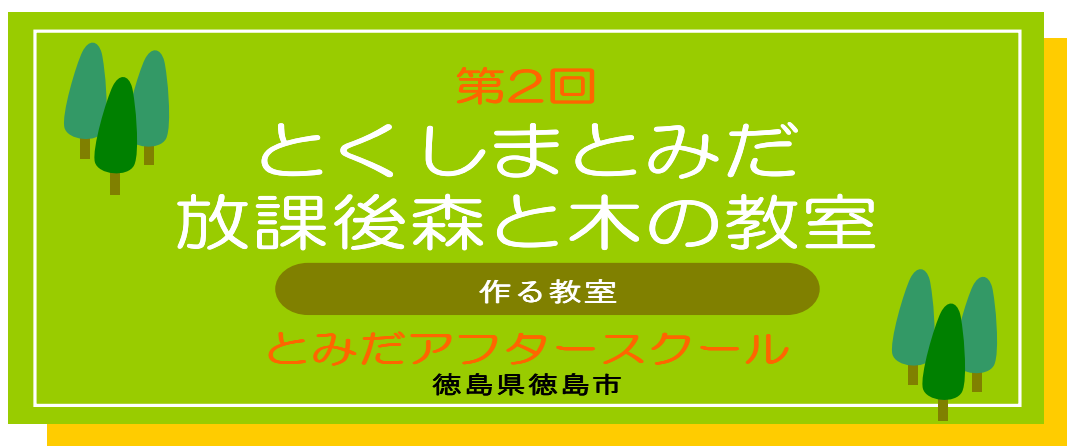
ビデオデッキの調子が悪く、残念ながらビデオの上映はできなかったものの、かえってお話の方が子供たちの興味を引いたようであった。比較的静かに、落ち着いて聞いている子が多かった。

また、座卓前に座って聞くようにしたのもよかった。

積極的に質問をする子も多かった。

この教室では比較のお話もよく聞いてもらえたが、やはり、集中させることは課題である。いかにお話に夢中にさせるかなど工夫するは必要がある。

②-1：第二回「とくしま とみだ 放課後森と木の教室」



第2回
とくしまとみだ
放課後森と木の教室
作る教室
とみだアフタースクール
徳島県徳島市

事業のねらい

放課後子ども教室の子どもたちに、徳島県の豊かな森林資源がどのように活用され、人の暮らしを支えたのか。そして、人間にとって森や木がどれほど大切なものかということを専門家の話や木の実物に触れながら体験して学びます。

実施日

平成20年12月4日(木) 14時15分～16時30分

参加者

とみだアフタースクール
児童23名（小一7名、小二14名、小三1名(不明1名)）
教室スタッフ7名
保護者2名

スケジュール

活動内容

14:15
スタート

①「本日の予定」、「見どころ、聞きどころ」などの説明

今日は竹細工のカニと貯金箱をつくります。最初にお手伝いいただく先生方(2名)や担当者を紹介し、今日のポイントとスケジュールを伝え、ハサミや金づちなど気をつけないとけがをする道具を使うため、注意を促しました。



14:20
おもちゃを
つくる

②竹細工のこんちゅうをつくる

上勝町の清井さんが用意していただいた、竹のキットを木工用ボンドで組み立てます。作り方や順番は田上先生が説明し、スタッフに手助けしてもらいながら、かわいい“沢ガニ”を完成させました。



カニキット(①胴体、②はさみ、③目、④足)を組み立てます。



胴体の横にある穴に木工用ボンドをつけたはさみ、目、足を差し込んでつけます。



足を適当な長さにハサミで切ります。



目印におなかに名前を書き入れ、固定するまでしっかり乾かします。

15:20
休憩

15:30
貯金箱を
つくる

③杉の貯金箱をつくる

続いて杉板を組み合わせた貯金箱をつくりました。まず、田上先生から作り方の説明をしてもらいます。用意された杉板上勝町の田野さんが一枚一枚切り出してヤスリをかけて仕上げてくれたものです。面を合わせる順番を間違えないように、くぎを打って組み立てます。金づちを使ったことがない子も多く、かなり悪戦苦闘していました。形ができたなら、角をヤスリで丸く仕上げ、後は、思い思いに絵を描いたり、落ち葉を貼り付けたりしてオリジナルの貯金箱を完成させました。



おさえてもらいながら、がんばってくぎを打ちました。



紙ヤスリをかけていないに仕上げます。



出来上がった貯金箱に思い思いに絵や文字をペイントしました。



先生たちは、表面を焦がして風情を出したり、落ち葉を貼って、季節感のある貯金箱を作りました。



16:15
まとめ

④まとめ(感想)、お礼

最後に子どもたちには、今日の感想を含めてアンケートを書いてもらいました。また、今回はスタッフや保護者の大人の方にも今回と前回の2回分の感想とアンケートをお願いし、「とくしま放課後放課後森と木の教室」を終了しました。

16:30
終了

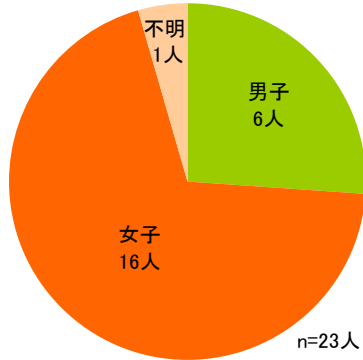


アンケート結果

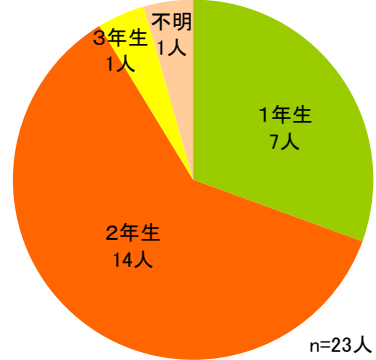
— 子ども —

子どもたちには、このような教室にまた、参加したいか、「森と木の教室」とは別のメニューの教室だったら、どんな教室に参加したいかという意向をアンケートで答えてもらいました。結果は下記の通りです。

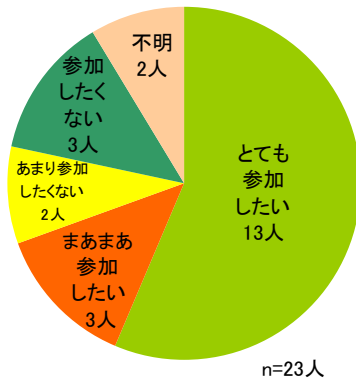
性別



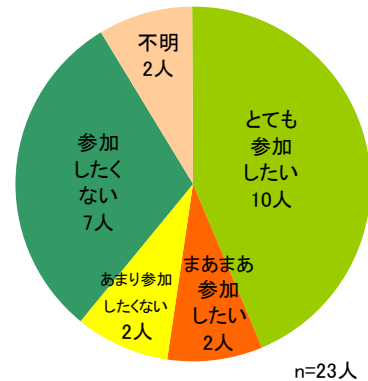
学年



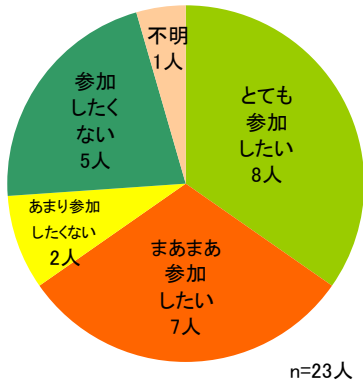
「森と木の教室」にまた参加したいか



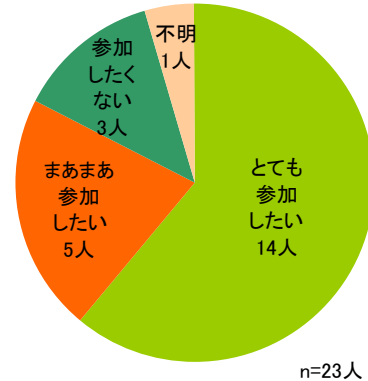
上勝町や高丸山まで行く教室に参加したいか



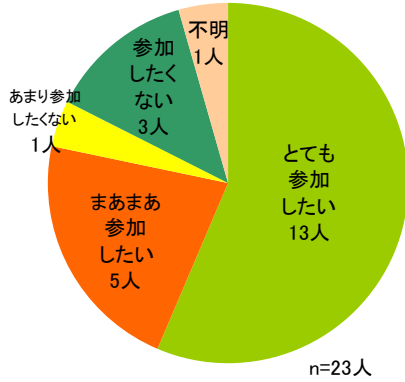
家具、住宅部品製造の工場体験教室参加したいか



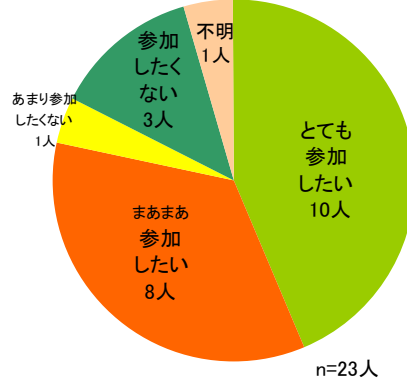
すだち等の話しを聞いたり、料理を作る教室に参加したいか



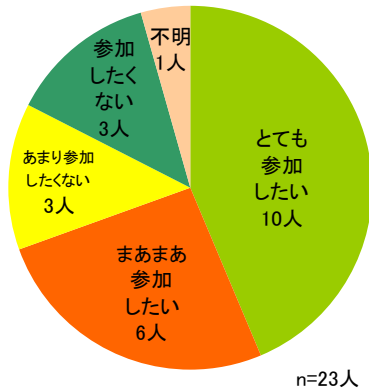
海、魚の話しを聞いたり料理を作る教室に参加したいか



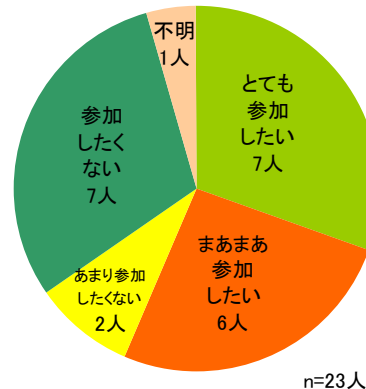
食品、飲料等について勉強や工場体験教室参加したいか



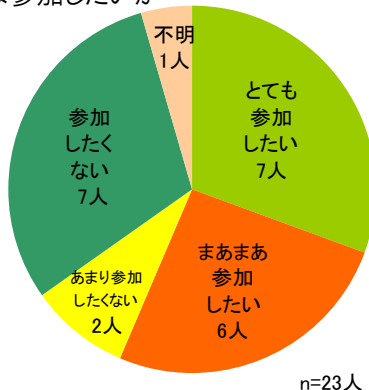
電気製品等の勉強や工場体験教室に参加したいか



年賀状、名刺等を作成するパソコン教室に参加したいか



商店街や商売についての勉強や体験教室があれば参加したいか



コメント

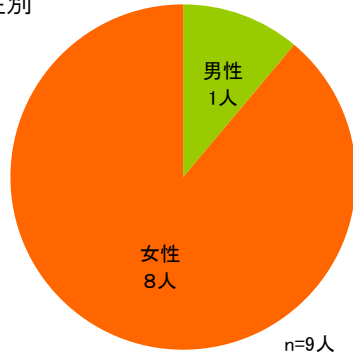
この「森と木の教室」は2回実施しましたが、「またこの教室に参加したい」と答えた子どもたちは23人中16人おり、今回のテーマについては、ある程度の興味を持ってもらえたと思います。

この「森と木の教室」以外の8つのテーマの教室について、それぞれたずねたところ、どの教室も参加意向が高かったのですが、特に料理がテーマとなっている教室の参加意向が8割近くあり、最も高かったです。

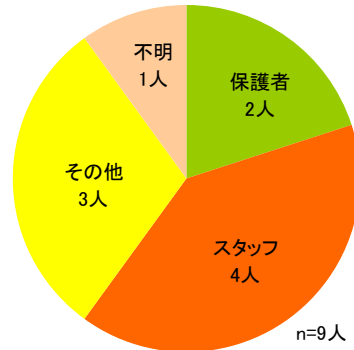
また、参加意向の方がやや多かったものの、パソコン教室や商店街、商店についての勉強会は参加したくないと回答も半数近くありました。

— 大人 —

性別

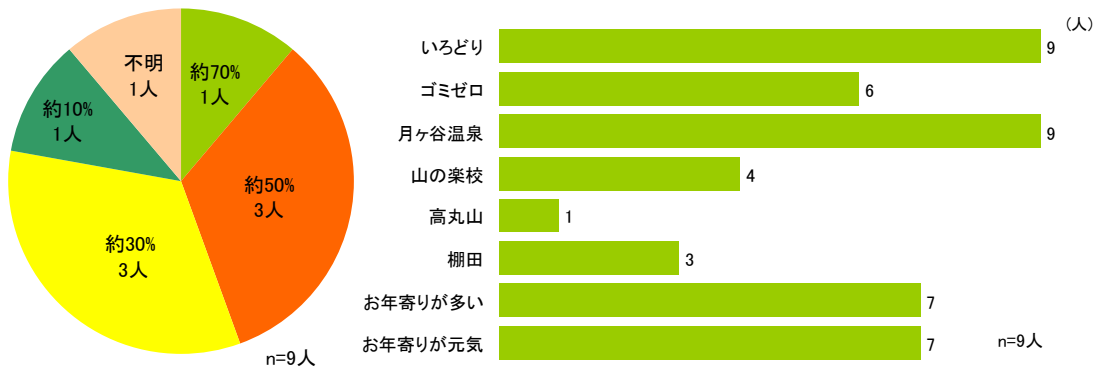


区分



下記は、前回の「森と木の教室」で子どもたちに答えてもらった質問を大人のみなさんにもたずねてみました。

徳島市の面積に占める森林面積の割合 上勝町のことで知っていることは？



徳島市の面積に占める森林面積の割合については、約 50%と約 30%の回答が同じ3人で多かったですが、正解は約 30%です。子どもたちでは約 70%とする回答が一番多く、正解の30%とを答えた子どもは 26 人中6人でした。上勝町のことで知っていることとして、いろいろ、月ヶ谷温泉が多かったです。子どもたちの回答でもいろいろが一番でした。

徳島市内の製造工場数について(第1位は食品工場ですが、2~4位は?)

	飲料工場	木材や板の工場	家具工場	薬品工場	金属工場	不明
第2位	0	1	4	1	2	1
第3位	0	6	2	0	0	1
第4位	1	0	2	3	2	1

徳島市内の製造工場の売上高について(第1位は薬品工場ですが、2~4位は?)

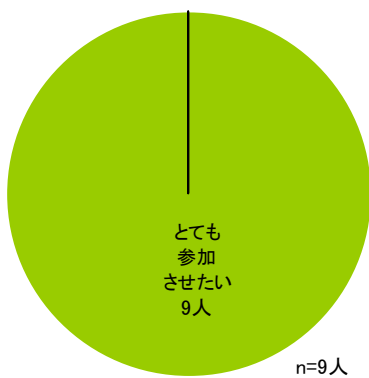
	食品工場	飲料工場	木材や板の工場	家具工場	機械工場	不明
第2位	4	2	0	2	0	1
第3位	2	1	2	2	1	1
第4位	1	0	2	2	3	1

徳島市内の製造工場についてたずねたところ、まず、数が最も多いのは食品工場で、正解は、2位が家具工場3位が木材や板の工場、4位は金属工場ですが、みなさんの回答は前ページの表の通りです。

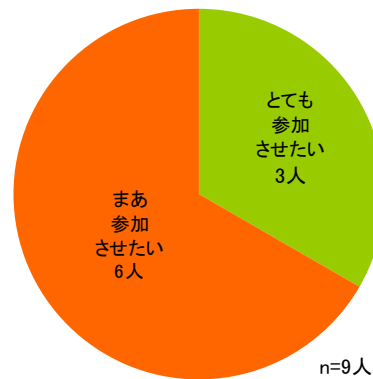
次に製造工場の売上高については、一番は薬品工場で、正解は2位が食品工場、3位が飲料工場、4位は機械工場ですが、回答は上の表の通りです。

大人の正解率はまあまあでしたが子どもたちには難しすぎたようです。

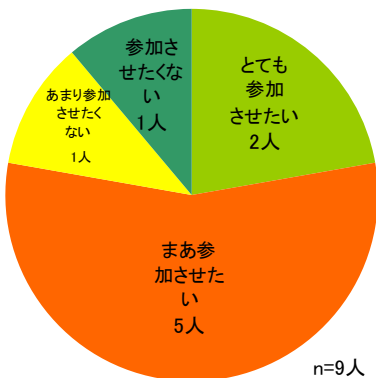
「森と木の教室」にまた参加させたいか



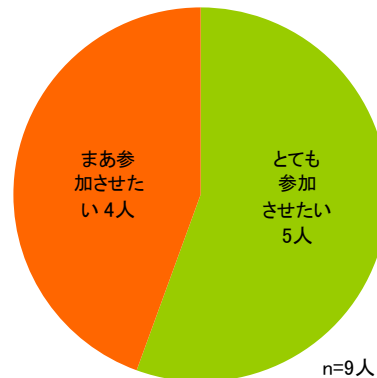
上勝町や高丸山まで行く教室に参加させたいか



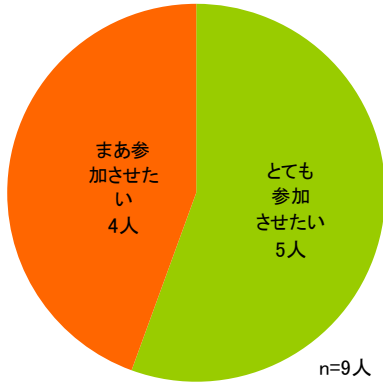
家具、住宅部品製造の工所用体験教室に参加させたいか



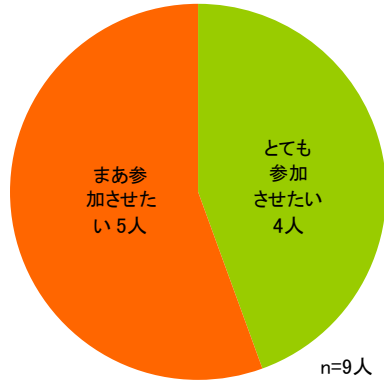
すだち等の話を聞いたり、料理を作る教室に参加したいか



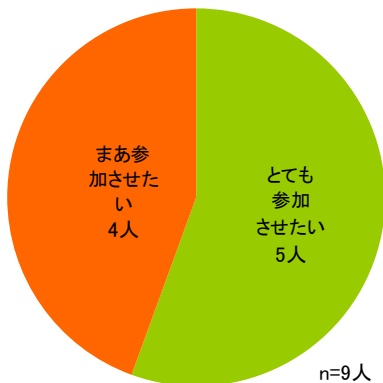
海、魚の話を聞いたり料理を作る教室に参加させたいか



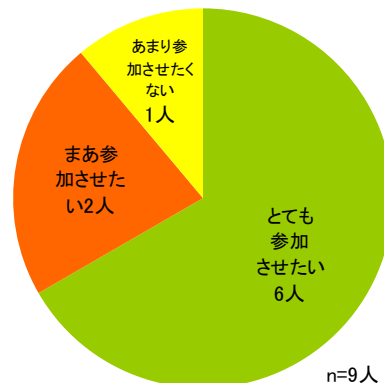
食品、飲料等について勉強や工場体験教室に参加させたいか



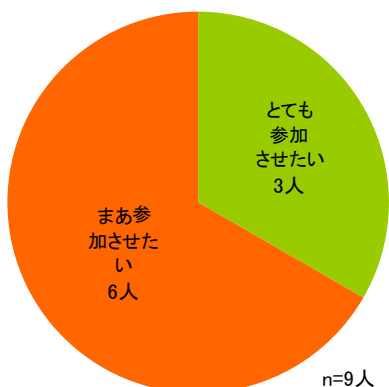
電気製品等の勉強や工場体験教室に参加させたいか



年賀状、名刺等を作成するパソコン教室に参加させたいか

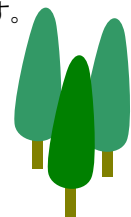


商店街や商売についての勉強や体験教室があれば参加させたいか



コメント

大人の方たちにも、今回実施した「森と木の教室」やその他のテーマの教室について、子どもたちを参加させたいかたずねたところ、「森と木の教室」は全員が「とても参加させたい」と回答であったことから、森や木のテーマについては高い評価を得ることができたと思います。また、別のテーマについても、ほとんどが「参加させたい」という回答でした。家具、住宅部品製造の体験教室については、他のテーマに比べ、「参加させたくない」という回答もあった。



感想 & 意見

①第1回(11月14日)についての感想、意見

- 内容が子ども達には難しすぎた。
- 小学校1、2年生が多いクラスだったので、説明が難しすぎたと思う。
- ビデオ内容が難しかったようです。

②第2回(12月5日)についての感想、意見

- くぎを打つのが楽しかった(笑)。日曜大工にはまる人の気持ちがちょっとだけわかったような気がした。
- 子ども達が生き生きしている。
- 途中からであったが、楽しそうにくぎを打っていたのでうれしかった。
- 竹細工のカニは、なかなか自分では材料が揃えられないものなので、作れてよかったと思う。貯金箱も木のぬくもりがとてもいいと思う。
- 初めてくぎを打った子も多かったと思う。貴重な体験ができたと思う。

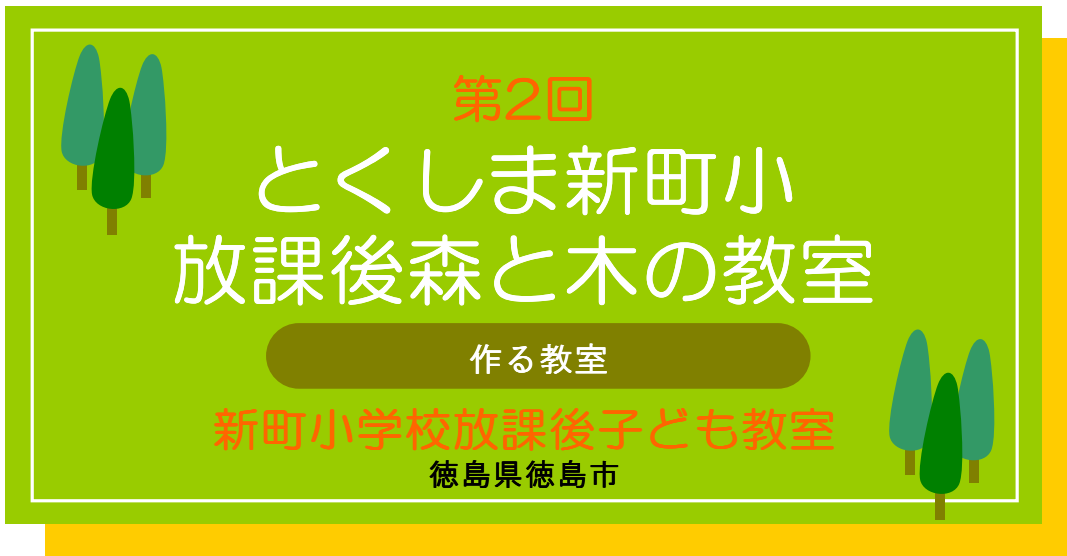
③今後、放課後子ども教室で取りあげたらよいと思うテーマ、内容

- 何でもいいので、どんどん取りあげてください。
- すだち、なると金時、ワカメなど小さい子どもは、徳島ならではのものを意識していないと思うので、そういうものを使った料理教室などは楽しいと思う。
- 阿波踊り

ふりかえって

- ・低学年の子どもたちに、竹細工のおもちゃと杉の貯金箱の2つを時間内に作成させることは、かなり無理があった。組み合わせるだけのキットを用意したものの、形を作るのにボンドで固定したり、釘を打ったりするのは、子どもにとっては(特に低学年)難しい作業であった。そのため、釘打ちについては、ほとんど大人たちの手で行わざるを得ない状況であった。大人たちの方も手助け程度と考えていたところが、日曜大工のようなありさまで子どもたち以上の奮闘であった。
- ・子どもたちにしても、出来上がることの喜びまでいかず、うまく釘が打てないなどで、作業を投げ出してしまうこともあった。もう少し時間をかけてじっくりと作業をさせるか、限られた時間でやらせるのなら、出来上がった貯金箱に絵を描いたり、デコレーションする体験にしぼるなど、どちらかを考えた方がよかった。貯金箱については組み立てることよりも、後で思い思いに絵を描いたり、木の葉などの飾りつけに夢中になっている子どもが多かった。
- ・作業手順については、はじめる前に黒板と口頭で説明したが、あまり伝わらなかったため、予め、手順をわかりやすく図式化したものを用意したり、キットにもしるしをつけるなどの工夫が必要であった。

②-2：第二回「とくしま 新町小 放課後森と木の教室」



事業のねらい

放課後子ども教室の子どもたちに、徳島県の豊かな森林資源がどのように活用され、人の暮らしを支えたのか。そして、人間にとって森や木がどれほど大切なものかということを専門家の話や木の実物に触れながら体験して学びます。

実施日

平成 20 年 12 月 5 日(金) 14 時 30 分～16 時 30 分

参加者

新町小学校放課後子ども教室
児童 11 名 (小一1名、小二6名、小三3名、小六1名)
教室スタッフ3名
保護者1名

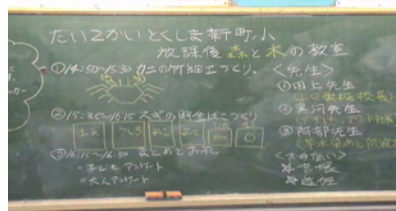
スケジュール

活動内容

①「本日の予定」、「見どころ、聞きどころ」などの説明

今日は竹細工のカニと貯金箱をつくります。最初にお手伝いいただく先生方(2名)や担当者を紹介し、今日のポイントとスケジュールを伝え、ハサミや金づちなど気をつけないところがをする道具を使うため、注意を促しました。

14:30
スタート



14:35
おもちゃを
つくる

②竹細工のこんちゅうをつくる

上勝町の清井さんが用意していただいた、竹のキットを木工用ボンドで組み立てます。作り方や順番は田上先生が説明し、スタッフに手助けしてもらいながらかわいい“沢ガニ”を完成させました。



15:20
休憩

15:30
貯金箱を
つくる

③杉の貯金箱をつくる

続いて杉板を組み合わせた貯金箱をつくりました。まず、田上先生から作り方の説明をしてもらいます。用意された杉板上勝町の田野さんが一枚一枚切り出してヤスリをかけて仕上げてくれたものです。面を合わせる順番を間違えないように、くぎを打って組み立てます。金づちを使ったことがない子も多く、かなり悪戦苦闘していました。形ができれば、角をヤスリで丸く仕上げ、後は、思い思いに絵を描いたり、落ち葉を貼り付けたりしてオリジナルの貯金箱を完成させました。

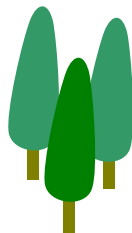
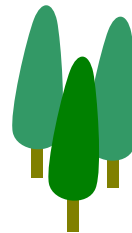


16:15
まとめ

④まとめ(感想)、お礼

最後に子どもたちには、今日の感想を含めてアンケートを書いてもらいました。また、今回はスタッフや保護者の大人の方にも今回と前回の2回分の感想とアンケートをお願いし、「とくしま放課後放課後森と木の教室」を終了しました。

16:30
終了

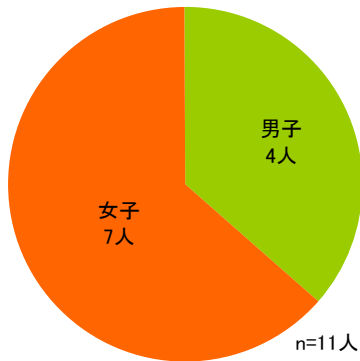


アンケート結果

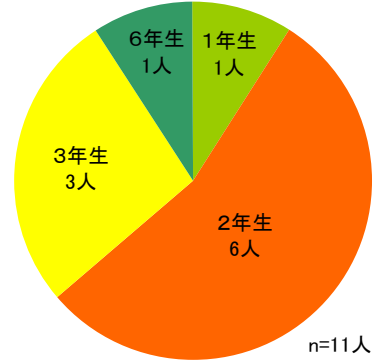
— 子ども —

子どもたちには、このような教室にまた参加したいか、「森と木の教室」とは別のメニューの教室だったら、どんな教室に参加したいかという意向をアンケートで答えてもらいました。結果は下記の通りです。

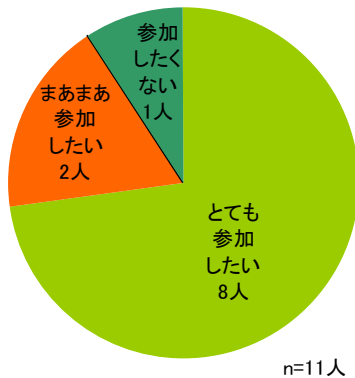
性別



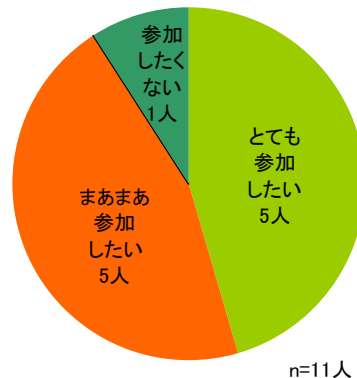
学年



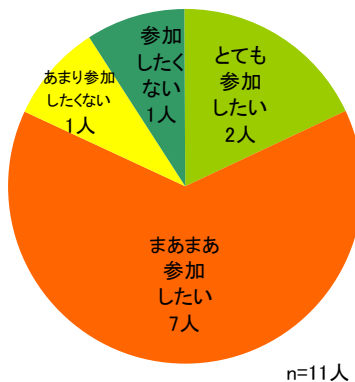
「森と木の教室」にまた参加したいか



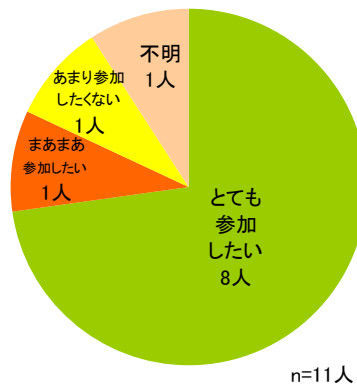
上勝町や高丸山まで行く教室に参加したいか



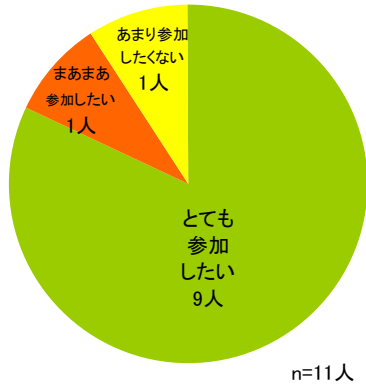
家具、住宅部品製造の工場体験教室に参加したいか



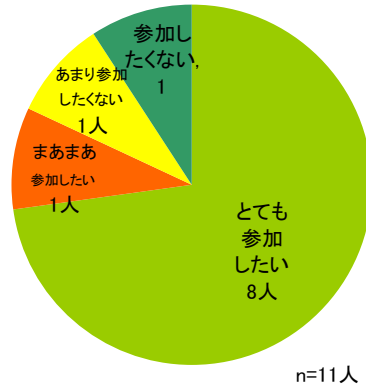
すだち等の話を聞いたり、料理を作る教室に参加したいか



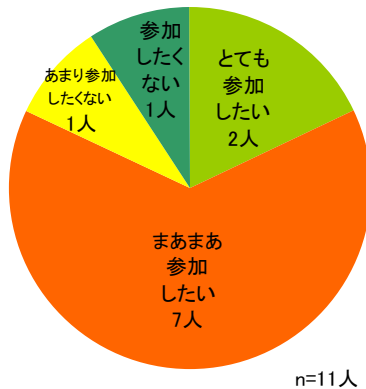
海、魚の話しを聞いたり料理を作る教室に参加したいか



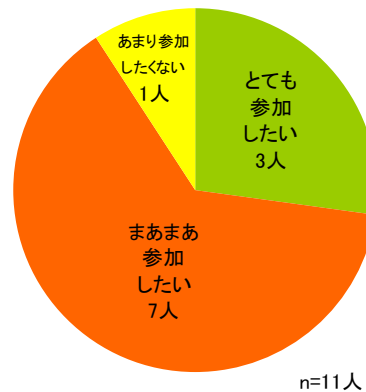
食品、飲料等について勉強や工場体験教室参加したいか



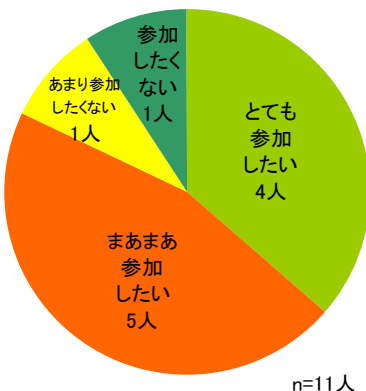
電気製品等の勉強や工場体験教室に参加したいか



年賀状、名刺等を作成パソコンする教室に参加したいか



商店街や商売についての勉強や体験教室があれば参加しいか



コメント

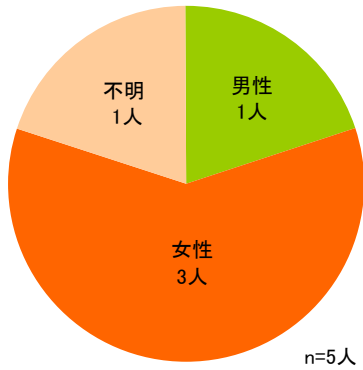
この「森と木の教室」は2回実施しましたが、「またこの教室に参加したい」と答えた子どもたちは11人中10人おり、今回のテーマについては、子どもたちに興味を持ってもらえたと思います。

また、この「森と木の教室」以外の8つのテーマの教室について、それぞれたずねたところどの教室も参加意向が高かったのですが、特に料理や食がテーマとなっている教室への参加意向が8割以上と最も高かったです。

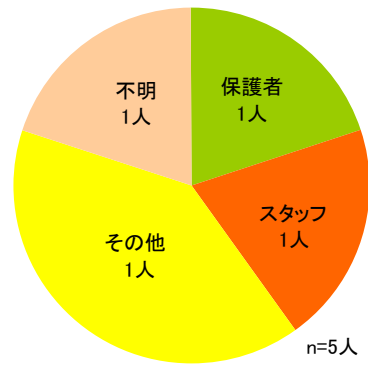
パソコン教室や家具、電気製品、商店街などの勉強会については「まあまあ参加したい」とする回答が多く、他のテーマに比べてやや興味には欠ける傾向でした。

— 大人 —

性別

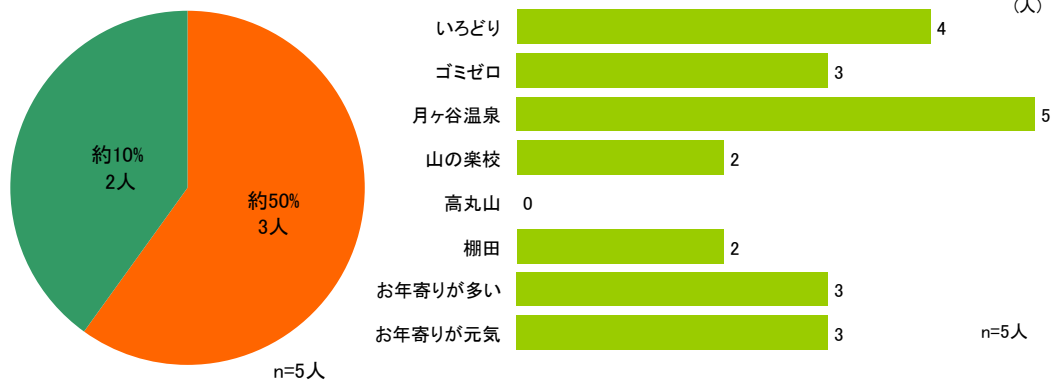


区分



下記は、前回の「森と木の教室」で子どもたちに答えてもらった質問を大人のみなさんにもたずねてみました。

徳島市の面積に占める森林面積の割合 上勝町のことで知っていることは？



徳島市の面積に占める森林面積の割合については、約 50%と約 10%の回答がありましたが、正解は約 30%です。子どもたちでは約 70%とする回答が一番多く、正解の 30%と答えた子どもは 15 人中 3 人でした。上勝町のことで知っていることとして、いろいろ、月ヶ谷温泉が多かったです。子どもたちの回答でもいろいろが一番でした。

徳島市内の製造工場数について(第1位は食品工場ですが、2~4位は？)

	飲料工場	木材や板の工場	家具工場	薬品工場	金属工場	不明
第2位	0	2	2	0	0	1
第3位	1	1	2	0	0	1
第4位	2	0	0	1	1	1

❁ 徳島市内の製造工場の売上高について(第1位は薬品工場ですが、2~4位は?)

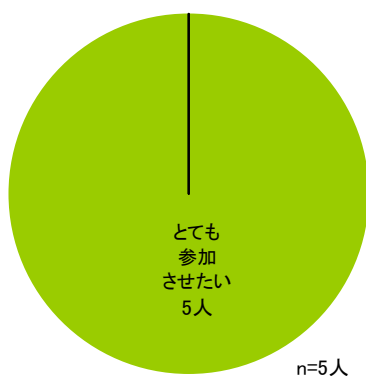
	食品工場	飲料工場	木材や板の工場	家具工場	機械工場	不明
第2位	2	1	1	0	0	1
第3位	0	1	0	3	0	1
第4位	0	1	1	1	1	1

徳島市内の製造工場についてたずねたところ、まず、数が最も多いのは食品工場で、正解は2位が家具工場、3位が木材や板の工場、4位は金属工場ですが、みなさんの回答は前ページの表の通りです。

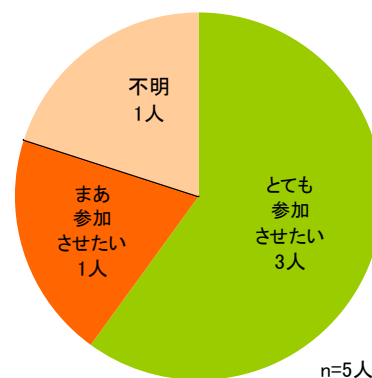
次に製造工場の売上高については、一番は薬品工場で、正解は2位が食品工場、3位が飲料工場、4位は機械工場ですが、回答は上の表の通りです。

大人の正解率はまあまあでしたが子どもたちには難しすぎたようです。

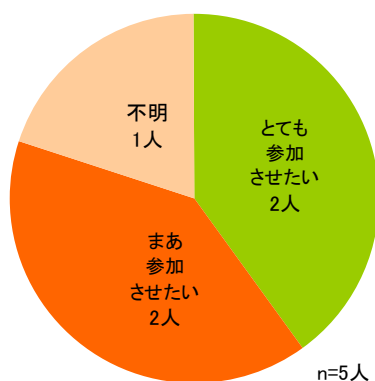
❁ 「森と木の教室」にまた参加させたいか



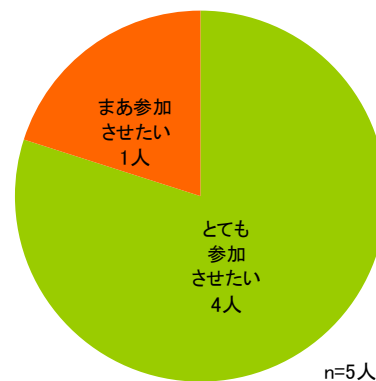
❁ 上勝町や高丸山まで行く教室に参加させたいか



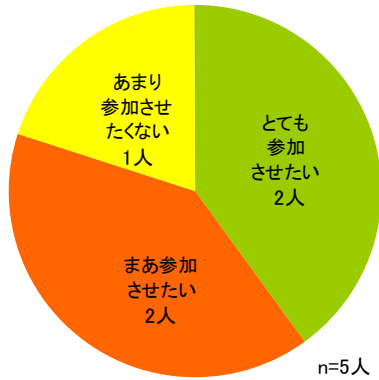
❁ 家具、住宅部品製造の工場体験教室に参加させたいか



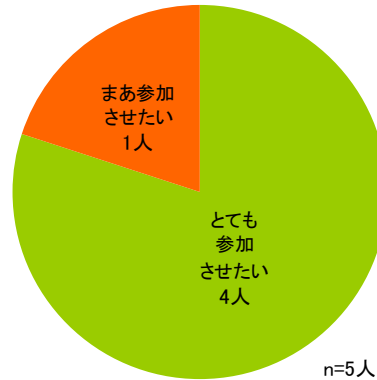
❁ すだち等の話しを聞いたり、料理を作る教室に参加したいか



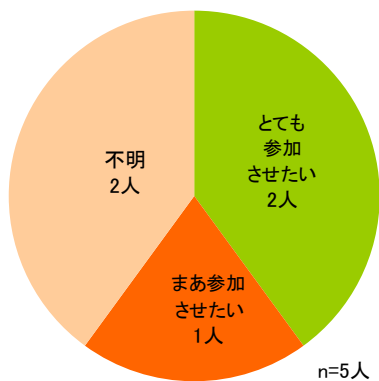
🍁 海、魚の話を聞いたり料理を作る教室に参加させたいか



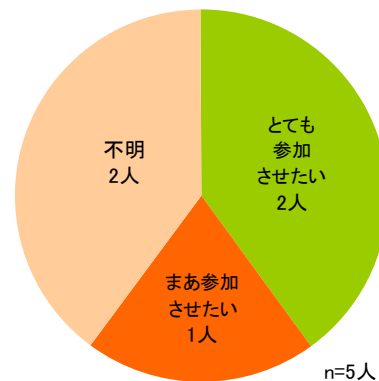
🍁 食品、飲料等について勉強や工場体験教室に参加させたいか



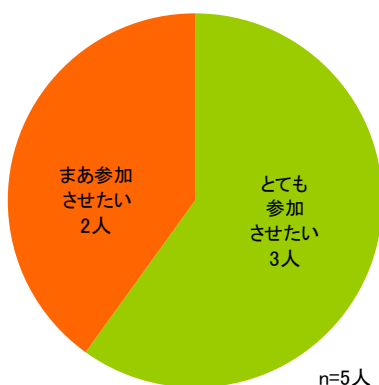
🍁 電気製品等の勉強や工場体験教室に参加させたいか



🍁 年賀状、名刺等を作成するパソコン教室に参加させたいか



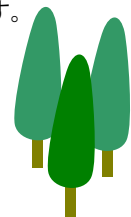
🍁 商店街や商売についての勉強や体験教室があれば参加させたいか



コメント

大人の方たちにも、今回実施した「森と木の教室」やその他のテーマの教室について、子どもたちを参加させたいかたずねたところ、「森と木の教室」は全員が「とても参加させたい」と回答であったことから、森や木のテーマについては高い評価を得ることができたと思います。

また、別のテーマについても、ほとんどが「参加させたい」という回答でした。



感想 & 意見

①第1回(11月14日)についての感想、意見

- 予定していたビデオが見られなかったのは残念ですが、木の話とかデザインの話とか色々聞けてよかったと思います。
- 小学校1、2年生が多いクラスなので、説明が難しすぎだと思う。
- 子どもには少し難しかったのではないかなと思う。

②第2回(12月5日)についての感想、意見

- 貯金箱作りでは、子ども達は金づちを打つことがなかなかできなかったが、最後には楽しく上手に打てるようになった。
- 子ども達が生き生きして楽しそうに感じた。
- 大変な作業もあったが、楽しくできたと思う。
- 日頃から工作をする機会がなく、苦戦した。
- 初めてくぎを打った子も多かったと思う。貴重な体験ができたと思う。

③今後、放課後子ども教室で取りあげたらよいと思うテーマ、内容

- 阿波踊り(健康体操も含む)
- 阿波踊り
- 子どもたちに、興味のあることを聞いてみて、それを取り上げてほしい。

ふりかえって

- ・前日のとみだアフタースクールでの反省を踏まえ、低学年の子どもたちでも、竹細工のおもちゃと杉の貯金箱の2つを時間内に作成できるよう、どちらもある程度の形に下準備した。子どもたちの作業としては、ほぼ仕上げのみということにしたが、それでもやはり時間が足りなかった。やはり2時間で2つの工作は難しいと思った。
- ・作業手順については、はじめる前に黒板と口頭で説明したが、今回は一度に子どもたちが集まることができなかったため、やはり、手順をわかりやすく図式化したものを用意しておき、作っている途中からでも作業がわかるようにした方がよかったと思った。
- ・6年生が一人参加していたが、さすがに高学年になると釘なども大人の手を借りずに打つことができ、年齢を考慮したテーマ選びも大切だと感じた。
- ・また、貯金箱で使用した釘についても、素材や大きさなどにより大人でも使いづらいものがあったので、事前に道具の点検をしたり、実際に作ってみて、改善すべき点は前もって修正や変更をするようなことが必要だと思った。

2. 徳島市での地域産業資源活用プログラム実施の効果・成果

(1) 地域に対する放課後子ども教室の認知促進

◆11月13日にとみだアフタースクールで開催した第一回「森と木の教室（森や木を見て、聞いてさわる教室）」の際に徳島新聞の取材があり、11月15日に下のような記事が掲載された。



◆12月4日にとみだアフタースクールで開催した第二回「森と木の教室（木のおもちゃや道具を作る教室）」の際に読売新聞の取材があり、12月14日に下のような記事が掲載された。

2008年(平成20年)12月14日(日曜日) 第2版

回 お便り ひろば
第262回
イルミネーション



(奥) 高橋正樹(前中) 佐藤(前中) 佐藤(前中)

前回の正解は「イルミネーション」。きれいに飾り付けている家が増えたため、それではお便りを紹介しましょう。

石井町の田上君子さんは「冬の風物詩のイルミネーション。明るく華やかで美しい飾り付けて、思わず足を止めて見はれてしまします」。

岡南市の東津路孝子さんは「この季節になると、あちこちでイルミネーションが光りますね。家でもすぐくまきれいにしているのがあって感動しました。光って心をいやしくくれましたよ」。

岡南市の斎藤孝子さんは「一層色とりどりで見られます。一種のはやりものかな」。

徳島市の澤本舞一さんは「「アイエナリエ」が面白い。つづ、イルミネーションを家に飾るのも、確かにきれいですね。果たしてエコなんでしょうか……」。

岡南市の斎藤アルエさんは「油圧のイルミネーションも素敵ですね。岡南のどきも素晴らしいです。夢を見ていますよ。不景気の世の中、明るいイルミネーションもいいです」。

吉野川市の後藤真由美さんは「イルミネーションを飾る家が多くなり、夜が染みみです。教室の途中、足が止まりました」。

石井町の笠原千佳子さんは「民家のま先にサンタクロース、トナカイ、小さいラシア等々色んな色の電飾が輝いています」。

三好市の中山鉄雄さんは「油圧のイルミネーションがきれいですよ」。

美馬市の松岡和久さんは「徳島も岡南の方にきれいな」。

吉野川市の藤井舞華さんは「夜とともに見ると近所する木々に軽い輝きを舞えます。クリスマスももうすぐ」。

美波町の地町城交際支援センターで、手際合った遊びを親子で楽しむ「タマちゃん広場」岡南社大福祉協議会由緒支所主催」が開始され、親子ら約20人がクリスマスのリースやツリーの飾り物を作って楽しんだ。

参加した子どもたちは、職員が準備した力太の素材にリース作りには持ち帰りや、色紙に、カマアを染めぬを手に持って、いろいろな飾り、飾り物等の輪を作成。銀の飾りつけたり、周りにサンタや長靴の形に切ったフェルトを張り付けたりして仕上げた。

また、赤い粘土で天竺の形に

木の工作 森に思いを

文部科学省の委託事業「放課後活動支援モデル事業」が、徳島市中央部の市立富田小学校で開かれた。児童約30人が木材業者の指導で、地元の木材を使った工作に熱中した。

市教委などが「とくしま放課後もりと木の教室」と題し、同小と市立新町小で開催。人と自然のつながりを教え、子どもたちが身近な自然に目を向けるきっかけになればと、順木竹工業 徳島・富田小で放課後活動

協同組合連合会などの協力で、地産産業の木工業に使われる木材を扱うことにした。

子どもたちは、11月の第1回目に、上勝町の高丸山で、森の手入れなどをする人たちの話を聞いた。2回目の今回は、上勝町の竹や間伐材の杉で、カニのおもちゃや貯金箱を作った。金づちや鉋を駆使してなんとか作品を完成させ、笑顔で友達に見せ合うなどした。同小2年の小笠原拓海君(8)は「難しかったけど、自分で作るのテレビゲームよりおもしろかった」と話した。

親子でXマスリース作り



また、赤い粘土で天竺の形に

(2) 子ども、保護者の地域産業への興味・理解促進、教室プログラムへの意向開拓

<地域産業界の協力による放課後子ども教室プログラムへの意向開拓>

◆第二回「森と木の教室（木のおもちゃや道具を作る教室）」終了時に子どもと大人対象のアンケートを実施して、産業資源を活用した放課後子ども教室プログラムへの参加意向を尋ねたところ、次のように参加意向を掘り起こし把握することができた。

第二回終了時アンケートより

*上段：子ども(参加したい)：有効回答35人、下段：大人(参加させたい)：有効回答14人

下の教室に参加したいか？		とても参加したい	まあまあ参加したい	あまり参加したくない	参加したくない
「森と木の教室」に“また”	子ども	62.9%	14.3%	5.7%	11.4%
	大人	100%	0%	0%	0%
上勝町や高丸山まで実際に出かける教室 <テーマを変え林業・山村等の参画を想定>	子ども	42.9%	20.0%	5.7%	25.7%
	大人	42.9%	50.0%	0%	0%
家具や柱や板や家の部品を作る工場について勉強や体験をする <木材・家具、建築等の業者の参画を想定>	子ども	28.6%	39.9%	8.6%	20.0%
	大人	28.6%	50.1%	7.1%	7.1%
すだち、みかん、きのこ、山菜などを見たりきいたり、料理を作る教室 <農協等の参画を想定>	子ども	62.9%	17.1%	2.9%	11.4%
	大人	64.3%	35.7%	0%	0%
海や魚や貝を見たりきいたり、料理を作(つ)くる教室 <漁協の参画を想定>	子ども	62.9%	17.1%	5.7%	11.4%
	大人	50.0%	42.9%	7.1%	0%
食品、飲料、薬の工場について、勉強や体験をする教室 <大塚グループほか食品・飲料、薬品等の企業参画を想定>	子ども	51.4%	25.7%	5.7%	14.3%
	大人	57.1%	42.9%	0%	0%
LEDなどの電気製品や機械などについて、勉強や体験をする教室 <日亜化学ほか電機・電子、機械等の企業参画を想定>	子ども	34.3%	37.1%	11.4%	14.3%
	大人	50.0%	35.7%	0%	0%
パソコンで年賀状や名刺などを作ったりする教室 <ジャストシステムほかソフトウェア等の企業参画を想定>	子ども	28.6%	37.0%	8.6%	22.9%
	大人	57.1%	21.4%	7.1%	0%
商店街や店や商売のことについて、勉強や体験をする教室 <商店街、商業者の参画を想定>	子ども	40.0%	31.4%	11.4%	14.3%
	大人	42.9%	57.1%	0%	0%

Ⅲ. 大都市の地域人材資源を活かす「せたがや食育」プログラムの実施

1. 世田谷区での地域人材資源活用プログラム実施の背景

(1) 地域人材資源活用可能性

- ◆大都市圏特に東京は、様々な有力企業や業界団体本部などが数多くあり、広報・PRや社会貢献事業などの形で放課後子ども教室でのプログラム実施や協力が得られる可能性が高い。
- ◆また、企業や団体のほか、タレント、評論家、デザイナー、コンサルタントなど社会的に影響力を持つ個人の方も多く、地域との縁や人的なつながりがあれば、このような方を招いて実施する放課後子ども教室プログラムも想定できる。

(2) 放課後子ども教室の実施状況

①放課後子ども教室(新BOP)実施校

- ・64教室／64校(区内全校で実施)

②放課後子ども教室実施頻度、回数

- ・年間290日程度(月～土曜日：日曜・祝日・休日・年末年始[12月29日～1月3日]を除く)

③コーディネーターの確保状況

- ・各新BOPにコーディネーターにあたるスタッフがいる(確保できている)

④教室やプログラムのタイプ

- ・学校ごとにイベントを実施。校庭・体育館を利用した活動的なイベントや、映画会等の室内イベントなど、新BOPの参加児童全員が楽しめるよう、様々なイベントを企画。

〈イベント例〉

歓迎会、スポーツ大会、ぬいもの、ミステリーツアー、お話会、伝承遊び、木工工作、囲碁将棋、夕涼み会、水遊び、絞り染め、お別れ会等

2. 世田谷区での地域人材資源活用プログラムの実施

(1) 実施に到る折衝、準備

1) 協力者の開拓とネットワーク形成及び折衝、準備の経緯

①「大学生と一緒に“豆腐づくり”」に向けて

i. 料理研究者による「親子料理教室」がネットワークの発端

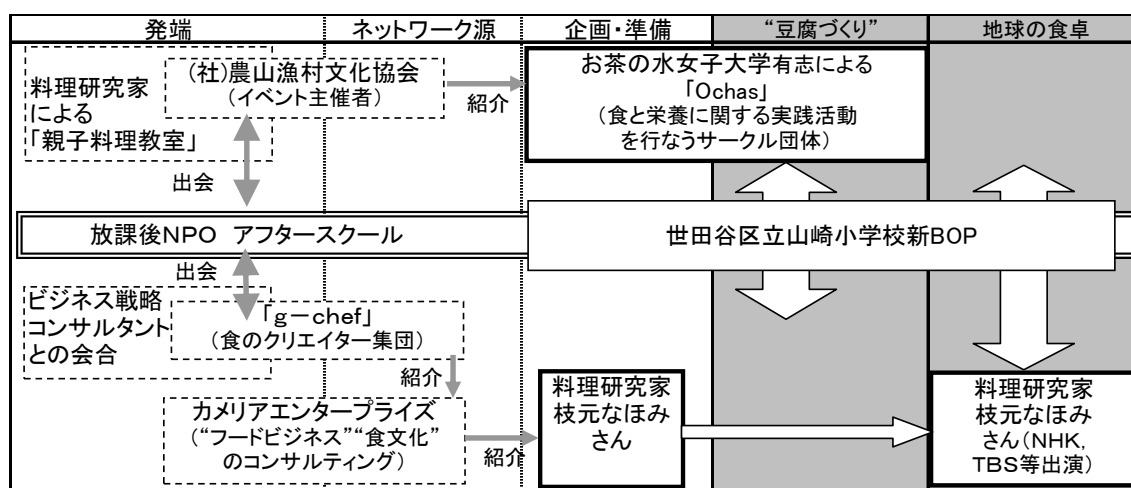
- ・テレビでお馴染みの料理研究者：堀江先生を招いた「親子料理教室」に山崎小学校新BOPの外部アドバイザー(放課後コーディネーター)が参加

ii. イベント主催者が「食育」人材資源の情報源

- ・「親子料理教室」を主催していた(社)農山漁村文化協会の方より、各種食育イベントで活躍するお茶の水女子大学「Ochas」を紹介していただく。

iii. お茶の水女子大学「Ochas」より放課後事業への賛同と協力を得て“豆腐づくり”プログラムが実現

- ・お茶の水女子大学「Ochas」メンバーに会い、東京都食育フェアなどで演じた紙芝居を見せていただく。
- ・世田谷の新BOPなど放課後子ども教室での実施を想定して、体験型の食育プログラムの内容について意見交換を行い、豆腐づくりプログラムを組み立てた。



②テレビ等で活躍する料理研究者による「遊び感覚の食育“地球の食卓”」に向けて

i. ビジネス戦略コンサルタントの会合が食ビジネス界ネットワークの発端

- ・元アクセンチュア(ビジネス戦略コンサルティング会社)の三谷氏(コンサルタント)の会合でお会いした方に「g-chef」(食のクリエイター集団)の角田氏を紹介いただく。

- ii. 「g - c h e f」(食のクリエイター集団)に「放課後の食育」を相談
 - ・「g - c h e f」角田氏に、都会ならではの「放課後の食育」の内容を相談。テレビ、雑誌等で活躍する著名人に、子どもたちのために学校に来ていただけないのかとアドバイスをいただく。
- iii. “フードビジネス”“食文化”のコンサルティングカンパニーを介して料理研究家の協力が実現
 - ・「g - c h e f」角田氏よりカメラアエンタープライズ(“フードビジネス”“食文化”に関する一切をサポートするコンサルティングカンパニー)の佐野氏を紹介いただき、佐野氏を通じて、料理研究家の枝元なほみさんを紹介いただく。
 - ・枝元さんに会い、放課後NPOの活動内容と世田谷区の新BOPで実施したい事業の趣旨を説明したところ、賛同いただき、講師として招くことが実現した。

2) 実施に到る折衝、準備のポイント

①食育の情報源からネットワークの拡がり

<平成20年5月：社団法人農山漁村文化協会、放課後NPOアフタースクール>

- ◆以前「親子料理教室」で一緒した社団法人農山漁村文化協会から、お茶の水女子大学の食育サークルのご紹介を受け、放課後NPOアフタースクールとのコラボレーションの可能性を示唆していただく。

②食育の活動主体「Ochas」とのコラボレーション開始

<平成20年6月：お茶の水女子大学サークル「Ochas」、放課後NPOアフタースクール>

- ◆早速お茶の水女子大学のサークル「Ochas」と連絡を取り、打合せを行い「放課後食育プログラム」の企画を行う。大学生サークルとしてはいくつかのイベントには出展していたものの、まだまだ活躍の場(特に子ども向け)を求めている。また放課後NPOアフタースクールは食育のプログラムを求めているので利害が一致。

③世田谷区で放課後「豆腐づくり」の試験的实施

<平成20年8月：世田谷区立守山小学校、Ochas、放課後NPOアフタースクール>

- ◆世田谷区立守山小学校にて夏休み特別企画として「豆腐づくり」を試験的に実施。子ども40名を集め、大反響を得る。

④別ルートでの食育ネットワークの拡がり

<平成20年8月：g - c h e f、放課後NPOアフタースクール>

- ◆g - c h e f角田氏に「放課後食育プログラム」の実施について相談。その後定期的にコンタクトを取り、アイデア出し・企画立案。

⑤東京の産業資源を活用した「放課後食育プログラム」の実施方針決定

＜平成 20 年 11 月：放課後 NPO アフタースクール＞

- ◆「放課後食育プログラム」の中で、東京の産業界を巻き込んだ形、また単発ではなく連続的な食育プログラムを考慮した結果、都内大学生という人的リソースを使った「実践的な食育」と著名料理研究家を招いた「新しい楽しい放課後ならではの食育」の 2 回シリーズに決定。

⑥食ビジネスネットワークへの拡がり

＜平成 20 年 12 月：カメラアエンタープライズ、放課後 NPO アフタースクール＞

- ◆ g o o d c h e f 角田氏よりカメラアエンタープライズ（フードビジネスのコンサルティング会社）代表佐野氏をご紹介いただき、放課後食育プログラムの趣旨を説明し理解をいただく。そして TV、雑誌でおなじみの料理研究家、枝元なほみさんを紹介いただく。

⑦「放課後食育プログラム」の内容具体化

＜平成 21 年 1 月：料理研究家枝元さん、Ochas、放課後 NPO アフタースクール＞

- ◆枝元なほみさんと打合せ、放課後食育プログラムの趣旨をご説明の上、企画を話し合った結果、「対話型の新しい食育」に決定。同時に Ochas とも「実践的な食育」豆腐づくりの準備、詳細について数回打合せを行なって詰めを行った。

⑧放課後教室（新 BOP）との「放課後食育プログラム」実施についての詰め

＜平成 21 年 2 月：世田谷区立山崎小学校新 BOP、放課後 NPO アフタースクール＞

- ◆各学校に提案を行った結果、世田谷区立山崎小学校が快諾。「豆腐づくり」が 3/4(水)、「対話型の新しい食育」が 3/11(水)に決定。また当日の段取りやアンケートのご協力、現場スタッフの対応等、詳細な打合せを数回重ねる。特に今回の「放課後食育プログラム」についての趣旨をご理解いただき、またスタッフの協力なくして実現しないことを強調。2 月末に学校で配布される「BOPだより」にて募集をかける。「実践的な食育」63 名の応募、「対話型の新しい食育」は枝元さんの意向で、人数を広げすぎずに 10～15 名限定で行うこととした。

(3) 実施結果

1) 「大学生と一緒に“豆腐づくり”」これぞ食育の醍醐味、大豆から豆腐への劇的な変化

- ・日時：3月4日（水） 14：00～16：00
- ・会場：世田谷区立山崎小学校新BOP
- ・参加者：子ども10人（小学1～5年生）

<講師> お茶の水女子大学「Ochas」

・お茶の水女子大学の学生の有志による、食と栄養に関する実践活動を行なうサークル団体。学校で得た栄養学的知識や自分の得意分野を活かし「食の第4機能」を社会にメッセージとして発信し、食と栄養に関する知識を普及させる活動を通じて多くの人の健康増進に寄与することを目的としている。

※「食の第4機能」とは、「Ochas」が新たな概念として創り出した、第一機能から第三機能までに含まれていない、「感情の効果」の機能を考えたもの。即ち、食事、食事をする環境、その他の要因から感じられる喜びや楽しみ、癒し、安心感などを食を通じて得られるプラスの感情の効果をさす。

<事業コーディネート> 放課後NPO アフタースクール

<プログラム>

- ①小学生と年の近い、栄養学や食育を専門とする大学生サークルとの豆腐づくり。
- ②各グループに分かれ、大学生と一緒に1つずつの工程を順々にこなしていく。
- ③大豆から豆腐に劇的に変わっていく「過程」を、肌で感じながら食の変化を学んでいく。
- ④まさに身体で感じる食育。同時にその各工程の中で、大学生との各種説明やコミュニケーションを通じて、食に対する関心や食にかかわる楽しみなどを大人と一緒に共有していく。
- ⑤最後に自分の手で作った豆腐の美味しさを味わい、記憶に残るプログラムとする。

とうふをつくらう!

- 

① だいずを水であらって
ひとばん水につける。
- 

② だいずのおもさをはかる。
- ③ 水のおもさをはかる。

カップ
5はい分


- 

④ 水を入れて、
ミキサーで
こまかくする。
- 

⑤ おなべに入れて
7~8分火にかける。
こげないように
かきまぜる。
- 

⑥ ボールにガーゼを
して、そこに
ボールのなかみを
ながし入れてしぼる。
「おから」と「とうにゅう」
にわかれる。
- 

⑦ 「にがり」を「とうにゅう」
に入れて、
かるくまぜる。
10分かんないも
しないでまつ。
- 

⑧ パックに
ガーゼをしいて、
ボールのなかみを
のせて水をきる。

⑨

できあがり



<教室実施状況>

H20年度「総合的な放課後対策推進のための調査研究」事業

3/4

放課後食育プログラム

『豆腐づくり』

お茶の水女子大学「Ochas」と一緒に豆腐づくり

開催日・場所

2009年3月4日(水)
PM3:00~5:00
世田谷区立山崎小学校

区民先生

お茶の水女子大学「Ochas」の皆さん(17名)

当日のテーマ

大豆から豆腐に劇的に変わっていく過程を、実際の作業を通して体で学んでいく。また、食を専門とする大学生とのコミュニケーションの中で食への興味や楽しみを学ぶ。

参加者

58名



まずは「大豆はかせ」から、大豆にまつわる話です。



さっそく開始。水を測り、大豆をミキサーに。



それを鍋にかけて温めます。温めないだとだめなんです。



大学生に質問する子ども。



温めたものをこします。すると・・・



豆乳。「甘い!」の声が。



こちらおから。お土産に持って帰ります。



豆乳に魔法の水、にがりを加えると・・・「豆腐」の出来上がり!!



最後はしっかり片付け。

2) テレビ等で活躍する料理研究家による「遊び感覚の食育“地球の食卓”」

・日時：3月11日（水） 14：00～16：00

・会場：世田谷区立山崎小学校新BOP

・参加者：子ども10人（小学1～5年生）

<講師> 枝元なほみ

・「愛あるレシピ」と、その気さくな人柄で多くのファンを持つ。全国での料理イベント、トークショー、子供のための料理教室などの出演は多数。NHK、TBS「はなまるマーケット」などでもおなじみ。

<事業コーディネーター> 放課後NPO アフタースクール

<プログラム>

◆料理評論家の枝元さんと少人数の子どもたちで、「地球の食卓」という本を読みながら語りあったりコミュニケーションをとりながら進めていくプログラム。

①世界各国の、ごく平均的な家庭が、一週間分の食材とそれに使う食器や家具を外に出し、一枚の写真におさめられているこの本を通じて、

②世界の平均的な家庭でどういう食器が使われ、どういうものが食べられていて、

③そしてどういう生活が見えてくるのか、そして日本の食事食卓と比べてどうなのかなど

④世界に視野を広げてさまざまなことを子どもたちに感じ取ってもらう。

<当日使用テキスト>



出典：ピーターメンツェル著、フェイスダラージオ著、みつぢまちこ翻訳 TOTO出版 平成18年5月30日発行

<教室実施状況>

H20年度「総合的な放課後対策推進のための調査研究」事業

3/11

放課後食育プログラム
『地球の食卓』

料理研究家、枝元なほみさんとの本を通じた対話

開催日・場所

2009年3月11日(水)
PM2:00~4:00
世田谷区立山崎小学校

区民先生

料理研究家 枝元なほみさん

当日のテーマ

世界各国のごく平均的な家庭の一週間分の食材を写真におさめた本などを使いながら、子どもたちとの対話を進め、日本と世界を比べることで日本の食をさまざまな視点から捉える。

参加者

10名



今日は料理評論化、枝元さんを囲んでの食育です。



まずは好きな食べ物、今一番食べたものを紙に書きます。



今日用いる本は、「地球の食卓」



お料理手順のジェスチャーゲーム！

枝元なほみさん
NHK、はなまるマーケット(TBS)などでおなじみのゆるキャラ料理人。全国での料理イベント、トークショー、子供のための料理教室などの出演は多数。



子どももマネしています。



先生へのプレゼント。好きな食べ物です。



キレイな食べものがたくさんの子も...



最後はサイン会！いいなあ〜

3. 世田谷区での地域人材資源活用プログラム実施の効果・成果

①「大学生と一緒に“豆腐づくり”」これぞ食育の醍醐味、大豆から豆腐への劇的な変化

◆日常の食事や食品についての認識を促進できた

○いつも食べている食べ物についての興味を喚起できた。

- ・アンケートで、「いつも食べている食べ物に興味をわいたか？」に対し、「とてもわいた」34.0%、「すこしわいた」48.9%

○食べ物についての意識化を促進することができた。

- ・アンケートで、「これから、食べ物をどうしようと思いますか？」に対し、自由記入回答：「すてたらもったいない」「粗末にしない」「野菜を育ててみたい」「料理を作ってみたい」「おから料理をしてみたい」

◆大都市部ゆえのファッション、建築・インテリア業界等の参画による放課後子ども教室への参加意向を掘り起こし把握できた。

終了時アンケートより

*子どもの回答：有効回答48人

下の教室に参加したいか？		とても参加したい	まあまあ参加したい	あまり参加したくない	参加したくない
「今日みたいな教室」に“また”	子ども	59.0%	23.1%	7.7%	10.3%
洋服を作ったり、色を選んだりする教室 〈ファッション業界等の参画を想定〉	子ども	62.2%	10.8%	24.3%	2.7%
家を作ったりペンキを塗ったりする教室 〈建築、インテリア関連等の参画を想定〉	子ども	56.4%	20.5%	17.9%	5.1%

②テレビ等で活躍する料理評論家による「遊び感覚の食育“地球の食卓”」

★日常の食事や食品についての認識を促進できた

○いつも食べている食べ物についての興味を喚起できた。

・アンケートで、「いつも食べている食べ物に興味をわいたか？」に対し、「とてもわいた」90.0%、「すこしわいた」10.0%

○日本と外国の食事や食べ物の違いについて考えることができた。

・アンケートで、「日本と外国で、何が違いましたか？」に対し、自由記入回答：「いろいろ」「食べる量」「食べる物の違い」「食べ物と家」「多さ」「食べ物の入れ物」「一週間に食べる食べ物の量」

◆大都市部ゆえのファッション、建築・インテリア業界等の参画による放課後子ども教室への参加意向を掘り起こし把握できた。

終了時アンケートより

*子どもの回答：有効回答10人

下の教室に参加したいか？		とても参加したい	まあまあ参加したい	あまり参加したくない	参加したくない
「今日みたいな教室」に“また”	子ども	90.0%	10.0%	0%	0%
洋服を作ったり、色を選んだりする教室 〈ファッション業界等の参画を想定〉	子ども	100%	0%	0%	0%
家を作ったりペンキを塗ったりする教室 〈建築、インテリア関連等の参画を想定〉	子ども	100%	0%	0%	0%

IV. 「地域産業資源活用による放課後子ども教室の活動内容充実」の 全国普及のために

1. 3地域でのモデル事業実施を受けて

(1) むつ市での地域産業資源活用プログラムを実施して

1) 今年度プログラムを試行して

①子ども扱いに慣れた施設・人材の協力を得られた結果、プログラムづくりから当日の流れまでスムーズ

◆第一回「むつ放課後海とホタテ教室」は、むつ市海と森ふれあい体験館で実施した。むつ市海と森ふれあい体験館は子ども等を対象とした体験学習施設であり、五十嵐館長が日頃から子ども達と接していることもあって、水槽内の海の生物見学、生きものタッチ、陸奥湾の生物、環境等についての話し、陸奥湾の生きもの下敷きづくりなど、子ども達に好評でスムーズにプログラムを実施することができた。

②県の立場で産業界PRに努める担当者に参画いただいたことも好結果につながった

◆青森県むつ水産事務所（下北地域県民局地域農林水産部）の普及課長が関わってくれたことで、しおりづくり他、今年度実施のプログラム内容の充実を図ることができるとともに、産業界の参画・協力を開拓するためのアプローチの糸口が見えた。

◆むつ市漁業協同組合のような、市町村あるいは地区単位の漁協、農協等は、当然ながら組合員のための業務が最優先であり、組合事務もギリギリの人数で運営しているため、業界PR的な活動にまでは人手も費用もまわりにくい。そこで、県や団体連合会などの協力を仰ぐことで、地元漁協の協力も得やすくなる。

③放課後教室スタッフも地域の様々な資源活用に積極的であり実り多い教室となった

◆勇氣ランド子ども教室を運営する「希望の友保育園・幼稚園」の園長が、子どもを育てることに大変な情熱と行動力を持った方で、この園長が「海とホタテ教室」に賛同してくれたことで、今年度の教室実施がスムーズに進み、次年度以降の地元での産業界と連携した放課後教室実施の可能性も広がった。

④身近なはずだが、やや縁遠くなっている食を取り上げたことで楽しく拡がりあるプログラムとなった

◆ホタテは青森県の特産であり、むつ市でも身近な食材で料理もよく食べられているが、ホタテ「みそ貝焼き」となると、若いお母さん、特に他地域から嫁がれたり、転勤家庭の方などでは「食べたことがない」親子や「知らない」親子もいた。

◆下北ならではの地域性から生まれ、また、様々な具材を入れてアレンジも可能なこと

から、子ども達も保護者も「みそ貝焼き」に期待感を持って教室に臨んでくれ、食べればおいしいこともあって、「食べる教室」本番も大好評であった。

⑤地域資源活用プログラムの継続や拡大には経費負担が検討課題となる

- ◆第一回教室のような「モノづくり」の教室では工作用の材料費を見込む必要がある。
「陸奥湾の生きもの下敷づくり」には子ども一人当たり455円、「ホタテ稚貝のしおりづくり」には177円がかかった。
- ◆第二回教室のような「料理を作り食べる」の教室では料理材料や燃料費を見込む必要がある。今回の試行では、家庭では食べられない「みそ貝焼き」名人の豪華「みそ貝焼き」も取り上げたので、二品の「みそ貝焼き」で大人も含めて一人当たり589円となったが、ウニ入りを除いて一般的なみそ貝焼き一品であれば一人当たり341円で実施可能となる。

<第一回教室開催所要経費>

- ・第一回教室の「所要経費」としては、陸奥湾の生きもの下敷づくりと、ホタテ稚貝のしおりづくりの消耗品の経費があり、これは今後同様の教室を実施する際にも確実にかかる経費である。参加した子ども一人当たりでは631円で、保護者も含めて人数割りすると579円になる。
- ・下敷としおりの両方を作ると600円程度と見ておけばよいであろう。下敷のみでは455円、しおりのみでは177円である。
- ・その他の経費として、下のBで算入した、ラミネート後にしおりの角を丸く切り落とす「角丸」と、ひもを通す穴あけ用「パンチ」の費用がかかったが、これらは教室あるいは家庭にあるものを使用可能であるし、はさみ等で処理することも可能であるので経費とは見なくてよいであろう。

A. 第一回所要経費（消耗品等）	
・合計	20,855円
・参加者 子ども一人当たり	631円 =20,855円÷33人
・参加者全員 一人当たり (保護者を含む)	579円 =20,855円÷36人
B. 備品等も含めた第一回分経費（消耗品等+備品等）	
・合計	23,820円
・参加者 子ども一人当たり	722円 =23,820円÷33人
・参加者全員 一人当たり (保護者を含む)	661円 =23,820円÷36人

むつ第一回					
消耗品等		備品等		その他	
下敷き	15,000	角丸	2,150	バス貸切	37,800
しおり台紙	3,000	穴あけパンチ	315		
ラミネートフィルム	2,645				
リボン	210				
計	20,855	計	2,465	計	37,800

<第二回教室開催所要経費>

- ・第二回教室の「所要経費」としては、「みそ貝焼き」の材料費や燃料費等がかかった。今回の教室では、「みそ貝焼き」について、「古い」が「新しくもある」地域ならではの食としての意味、価値やその魅力を知ってもらうために、「みそ貝焼き」名人によるコンテスト最優秀ウニ入りみそ貝焼き、地元で一般的なみそ貝焼きの2種類を取り上げたので、やや割高となった。両方では、参加した子ども一人当たり822円で、保護者も含めて人数割りすると589円になる。ウニ入りを除いて一般的なみそ貝焼き一品であれば、子ども一人当たり476円、保護者も含めると341円である。
- ・その他の経費として、今回の試行では、貝焼き用のホタテ貝や簡易コンロ台を人数分用意したので、着火マン（ライター）も含めて、別途25,735円がかかった（下のBを参照）。これらは、教室や家庭のものを持ち寄ることで経費を抑えることが可能であろう。

A-1. 第二回所要経費（消耗品等）

- ・合計 31,234円
- ・参加者 子ども一人当たり 822円
=31,234円÷38人
- ・参加者全員 一人当たり 589円
(保護者を含む) =31,234円÷53人

A-2. 第二回所要経費（消耗品等） *ウニ入り豪華みそ貝焼きを除いた場合

- ・合計 18,072円
- ・参加者 子ども一人当たり 476円
=18,072円÷38人
- ・参加者全員 一人当たり 341円
(保護者を含む) =18,072円÷53人

B-1. 備品等も含めた第二回分経費（消耗品等+備品等）

- ・合計 56,969円 (31,234円+25,735円)
- ・参加者 子ども一人当たり 1,499円
=56,969円÷38人
- ・参加者全員 一人当たり 1,075円
(保護者を含む) =56,969円÷53人

B-2. 備品等も含めた第二回分経費（消耗品等+備品等）

*ウニ入り豪華みそ貝焼きを除いた場合

- ・合計 43,807円 (18,072円+25,735円)
- ・参加者 子ども一人当たり 1,153円
=43,807円÷38人
- ・参加者全員 一人当たり 827円
(保護者を含む) =43,807円÷53人

むつ第二回									
消耗品等			備品等			その他			
	単価	数		単価	数				
ホタテ身	1,800	72	25	ホタテ貝	8,000	400	20	バス貸切	25,200
はし	210	105	2	簡易コンロ台	16,620	554	30	会場代	18,920
燃料1	1,365	105	13	簡易コンロ台送料	800			テレビデオ借料	1,730
燃料2	1,365	105	13	着火マン	315	105	3	緑茶	630
燃料3	494	247	2					ウーロン茶	420
女性会具材等	8,000	8,000	1					ゴミ袋:むつ市指	300
波の子スープ	2,000	1,000	2					ゴミ袋:むつ市指	300
ウニ	10,290	1,470	7						
卵	872	218	4						
米、みそ、LPG等	4,838	4,838	1						
計	31,234			計	25,735			計	47,500

2) 次年度の地域資源活用プログラム実施に向けて

①モデル事業実施教室で同テーマを継続する

- ◆モデル事業を実施した二つの教室で、今年度実施した「放課後海とホタテ教室」を自前で実施することについては特に支障はなく、「みそ貝焼き」については、両教室とも子ども達に人気の定番の催しになりつつあると聞いている。勇気ランド子ども教室の運営主体である希望の友保育園・幼稚園では、卒園式後に卒園生・保護者を送る催しでも「みそ貝焼き」を採り入れ好評だったとのことである。
- ◆今後の課題としては、「みそ貝焼き」は教室に定着したが、産業界の継続的あるいは定期的な協力・交流によってより魅力的な放課後教室プログラムとしていくために、「みそ貝焼き」を取り上げながらも、今年度とは違った形で、漁協や商工会議所の関係者の方にも関わってもらえるようなプログラム実施が期待される。

②他教室でモデル事業と同テーマの教室を開催する

- ◆今年度わくわく教室と勇気ランド子ども教室でモデル事業として実施した結果や課題などを他の教室に具体的に知らせることによって他の教室でも同様の教室を実施できる可能性がある。
- ◆この際に課題となるのは、漁業関係者や「みそ貝焼き」関係者とのネットワークや、準備及び当日の進め方、備品や材料調達などについてである。
- ◆これらについては、今年度実施した両教室のコーディネーターなどのスタッフが、他の教室に情報提供をしたり相談にのってあげ、必要に応じてキーマンを紹介したり、必要に応じて用具等の貸し出しなども行うことをしていただければ、他教室で実施できる可能性が高まる。
- ◆また、市教育委員会の担当者からも、他教室への当プログラムの紹介や相談対応、今年度実施両教室との連携促進などをしていただくとよりスムーズに進むかと思われる。

- ◆将来的には、漁業関係に限らず、他産業や他の業界関係者と放課後子どもプラン関係者による「地域資源活用放課後プログラム推進」のための定期的な会議などを実施できるとよりよいであろう。

③他テーマでの地域資源活用放課後プログラムを実施する

- ◆第二回教室終了後に保護者や教室スタッフ等に応えてもらったアンケートにおいて「今後、放課後子ども教室で取り上げたらよいと思うテーマ、内容」を尋ねたところ。地域の産業界の協力・連携が想定されるテーマとして次のような自由記入による意見・提案があった。
 - ・自衛隊関係があればおもしろいと思う
 - ・観光関係を進めたい
 - ・商業関係。お金の流れなど、実際の暮らしに関係することもおもしろいのでは
 - ・職場見学等が楽しそう。農業、工芸、大工さんなど
- ◆第二回教室終了後に、様々な産業界の参画・協力を想定して教室の例を挙げて参加意向を尋ねてみた。「海とホタテの教室にまた」「とても参加したい（参加させたい）」とする割合は子どもは55.9%で他に例を挙げた教室に比べて低い傾向であり、大人は66.7%と比較的高かった
- ◆子ども、大人とも「とても参加したい（参加させたい）」とする割合がもっとも高かったのは、「魚を見たり聞いたり料理を作る教室」（漁協からホタテとは別の協力を期待）で子ども79.4%、大人66.7%であった。これに次ぐのは、「森や木のことを聞いたり、木のおもちゃを作る教室」（森林組合や木工業界の参画を想定）が子ども76.5%、大人66.7%であった。農協の参画を想定した「山菜、長芋、そば、ニンニクなどを見たり採ったり料理を作る教室」に「とても参加したい」割合はやや低く子ども53.0%、大人55.6%であった。

(2) 徳島市での地域産業資源活用プログラムを実施して

1) 今年度プログラムを試行して

①子ども扱いに慣れた施設・人材の協力を得られた結果、プログラムづくりから当日の流れまでスムーズであった

◆ハーモニーライフクラブ旭は山の楽校（上勝町）の管理運営を担当しており、子ども達の日帰り体験、宿泊体験等の受入実績が豊富である。「とくしま森と山の教室」では、ハーモニーライフクラブ旭の田上代表にプログラムづくりから当日の実施まで積極的に関わっていただいた。その結果、下で述べるように、教室内で「森と木」について楽しく学ぶという難題ながら、子ども達をひきつけるプログラムとすることができた。

②学校内の活動に限られた放課後教室ゆえ、教室内で楽しめる「森と木」のプログラムを実施することは難しかった

◆徳島市の放課後子ども教室は、安全確保や、地域の方々の過重負担を避けるという意味から学校内での活動に限られている。その結果、第一回の、森と木について「見て聞いて、さわる教室」は、上勝町の水源の森を守る歴史や現在の取り組みなどのDVDを見て、上勝町在住の田上講師から話を聞くという形にした。

◆しかし、小1、小2という低学年の子ども達が多かったことや、それ以前に、DVDが子ども向けでなく難しかったこともあって、子ども達がざわついたり、スタッフ、保護者からは「内容が難しすぎた」との感想もあった。子どもに接し慣れている田上講師の臨機応変の対応や語りで何とか最後まで実施できたものの、子ども達にとって、放課後教室に来てまで授業の延長ではかわいそうであり、座学的な内容にするにしても、せめて、子ども向けのテキストを用意したり、クイズ形式や操作・作業を取り入れた内容にするなど、事前のプログラム検討、教材準備などが必要であった。

③地域の方々に負担にならない教室運営が基本となるため、何から何まで出前・持ち込みという形にしたので、今後教室スタッフによる自前実施は少々難しい

◆徳島市の放課後子ども教室の運営の基本は、「地域の方々でできる範囲での放課後の居場所」といえるようである。元々、当プログラムの受入段階で、企業等による「持ち込み・出前」教室であれば受入可能という条件で話しを受けていただいた。

◆このため、教室スタッフ等の対応は、事前は「森と木」の教室への参加呼びかけ、当日も、子どもの見守りと世話が主で、プログラム実施面は若干の補助的なことのみということにした。産業界講師との事前折衝、プログラムの検討・組立、必要備品・消耗品等の手配などは、全て、当社が産業界講師の協力も得ながら進めた。

◆この結果、地元の教室スタッフが中心になって、産業界に呼びかけ、交渉・折衝を行って、新たな産業界協力プログラムを組みたてて実施するという事は難しいと思われる。

◆反省点として、地元の方々が忙しかったり、大変だということはあるとしても、交渉・折衝や準備の節目では、多少なりとも関わっていただくような場や機会を設ける必要があったと考える。

④「道具やおもちゃを作る」など、体験・作業しつつ地域産業や資源に興味を持たせることが重要である

◆竹細工のカニと間伐杉製貯金箱の工作を行ったが、これは子ども達も興味をもって積極的に取り組み概ね好評であった。やはり、体験的・作業的な内容をプログラムのメインにする必要があると考える。

◆しかし、今回の試行においては、2時間の教室において、全員が両方の工作に取り組むこととしたため無理があった。カニ竹細工、貯金箱のいずれもパーツを組み立てるキットとしたが、低学年の子ども達が多いこともあって、講師、事務局のほか、教室スタッフ、保護者まであらゆる大人が手伝って何とか仕上がるということになってしまった。

⑤地域資源活用プログラムの継続や拡大には経費負担が検討課題となる

◆第一回教室ではDVDの借り出し費用がかかったが、各関係者を当たれば無償でよりよい教材を確保することも可能かと思われる。

◆第二回教室のような「モノづくり」の教室では工作用の材料費を見込む必要がある。貯金箱キット1個500円、カニ竹細工キット1個300円が目安となる

<第一回教室開催所要経費>

・第一回教室の経費としては、実際に森や林に出かけることができないという制約があったために、徳島県千年の森ふれあい館よりDVDを借用し、そのための経費がかかった。これについては、もう少し時間があれば、林業や木工業等のPR用ソフトや社会教育用ソフトを無料で借りることも可能であったかと思われる。

A. 第一回所要経費（消耗品等）	
・合計	0円
B. 備品等も含めた第一回分経費（消耗品等+備品等）	
・合計	7,500円
・参加者 子ども一人当たり	188円
	=7,500円÷40人
・参加者全員 一人当たり	170円
（保護者を含む）	=7,500円÷44人

とくしま第一回		
消耗品等	備品等	その他
	DVD	7,500
計	0	計 7,500
		計 0

< 第二回教室開催所要経費 >

- ・第二回教室の「所要経費」としては、貯金箱キットとカニ竹細工キットを加工していただいた手間賃がかかった。今後教室が独自で実施する際にも同様にかかる経費である。貯金箱キットが1個500円でカニ竹細工キットが1個300円である。

A. 第二回所要経費（材料調達・加工手間賃等）	
・合計	41,600円
・参加者 子ども一人当たり	832円
	= 41,600円 ÷ 50人
・参加者全員 一人当たり	785円
（保護者を含む）	= 41,600円 ÷ 53人

とくしま第二回			
材料調達・加工手間賃			その他
貯金箱キット	26,000	500 52	積み木 50,000
カニ竹細工キット	15,600	300 52	
計	41,600	計	計 50,000

2) 次年度の地域資源活用プログラム実施に向けて

① モデル事業実施教室で同テーマを継続する

- ◆モデル事業を実施した二つの教室で、今年度実施した「放課後森と木の教室」などを自前で実施することについて、「木の工作教室」については、キットあるいは端材を用意できれば実施可能である。「森と木」について子どもたちの意識や興味・関心などを喚起するような教室は、田上代表や黒河社長などのように、普段から森や木と関わるゲストを招く形が望ましい。
- ◆田上代表、黒河社長やあるいは他のゲストを招くにしても、教室側で、どんな活動や情報提供を主たるねらいとするのかを定めた上でプログラムを組み立てて、ゲストの出番を設定し、日程や何らかの謝礼などゲストの都合や事情を考慮して折衝を行えば実施可能かと思われる。

② 他教室でモデル事業と同テーマの教室を開催する

- ◆今年度、とみだアフタースクールと新町小学校放課後子ども教室でモデル事業として実施した結果や課題などを他の教室に具体的に知らせることによって他の教室でも同様の教室を実施できる可能性がある。
- ◆この際に課題となるのは、ハーモニーライフクラブ旭の田上代表やアワードの黒河社長等とのネットワークや、準備及び当日の進め方、備品や材料調達などについてである。
- ◆これらについては、市のコーディネーターや今年度実施した両教室スタッフが、他の教室に情報提供をしたり相談にのってあげ、必要に応じて両者などのキーマンを紹介したり、必要に応じて用具等の貸し出しなども行うことをしていただければ、他教室で実施できる可能性が高まる。

- ◆また、市教育委員会の担当者からも、他教室への当プログラムの紹介や相談対応、今年度実施両教室との連携促進などをしていただくとよりスムーズに進むかと思われる。
- ◆将来的には、森林・山村や木工関係に限らず、他産業や他の業界関係者と放課後子どもプラン関係者による「地域資源活用放課後プログラム推進」のための定期的な会議などを実施できるとよりよいであろう。

③他テーマでの地域資源活用放課後プログラムを実施する

- ◆第二回教室終了後に保護者や教室スタッフ等に応えてもらったアンケートにおいて「今後、放課後子ども教室で取り上げたらよいと思うテーマ、内容」を尋ねたところ。地域の産業界の協力・連携が想定されるテーマとして次のような自由記入による意見・提案があった。
 - ・すだち、鳴門金時(いも)、ワカメなどは徳島ならではの特産品でありながら、子ども達はあまり意識していないと思うので、これらを使った料理教室などは楽しいと思う
 - ・阿波踊り
 - ・阿波踊り（健康体操も含めて）
- ◆第二回教室終了後に、様々な産業界の参画・協力を想定して教室の例を挙げて参加意向を尋ねてみた。子ども、大人とも「とても参加したい（参加させたい）」とする割合がもっとも高かったのは「森と木の教室にまた参加」で子ども**62.9%**、大人**100%**であった。これに次ぐのは、「すだち、みかん、きのこ、山菜などを見たりきいたり、料理を作る教室」（農協等の参画を想定）子ども**62.9%**、大人**64.3%**、「海や魚や貝を見たりきいたり、料理を作る教室」（漁協の参画を想定）子ども**62.9%**、大人**50.0%**であった。
- ◆徳島市及び周辺の有効企業の参画を想定した以下の教室については、上の教室に比べると「とても参加したい」とする割合が低いものの、大人では半数以上の意向が把握できた。大塚グループの参画・協力を想定した教室については子どもも半数以上が「とても参加したい」としており、企業にお願いしてみる価値があるかと思う。
 - ・食品、飲料、薬の工場について、勉強や体験をする教室（大塚グループほか食品・飲料、薬品等の企業参画を想定）：子ども**51.4%**、大人**57.1%**
 - ・LEDなどの電気製品や機械などについて、勉強や体験をする教室（日亜化学ほか電機・電子、機械等の企業参画を想定）：子ども**34.3%**、大人**50.0%**
 - ・パソコンで年賀状や名刺などを作ったりする教室（ジャストシステムほかソフトウェア等の企業参画を想定）：子ども**28.6%**、大人**57.1%**

(3) 世田谷区での地域人材資源活用プログラムを実施して

1) 今年度プログラムを試行して

①大学という地域資源の活用は放課後子ども教室にとって大変有意義

◆「豆腐づくり」においては、小学生に歳の近い大学生サークルがメイン講師となったことで子どもたちも近い大人としての親近感があり、大変な盛り上がりを見せた。都心に多く存在する大学という資源を使うのもひとつの事業形態としてあり得る。

②食に限らず大都市部には人に伝える力を持つその道のプロが多く、この方たちを放課後教室に呼び込む

◆「対話型の新しい食育」は作って食べてという従来の食育から離れた形式で行ったものだが、著名料理研究家が伝えたかった「食への興味・関心の持ち方」を示唆するプログラムだった。これも都心に数多くいる“料理のプロ”から学ぶことができる、食育の形であると考えられる。

③外部資源活用に積極的な教室スタッフと外部・教室をつなぐ中間組織の存在が魅力的なプログラムを誘導

◆コンサルタント(放課後 NPO)と現場(放課後教室)の信頼関係ができていたため、提案から実施までの流れがスムーズであった。それは過去数回のプログラムを当学校にて実施した実績があり、また現場以外の外部の人間を取り入れようという現場責任者の意識があることが要因として挙げられる。

2) 次年度の地域資源活用プログラム実施に向けて

◆今回の「放課後食育プログラム」の趣旨や連続プログラムの意義について、外部からの持ち込み企画であるにもかかわらず、現場責任者含め現場スタッフが意識を共有しており、さらに多くの現場スタッフが実際のプログラムに参加してくれていることから、来年度の実施も有望であると思われる。

◆そういう意味も含めて、多くの産業が存在し、そして多くの学校が存在する都心部において、直接的に両者が結びつくのではなく、両者を結び付ける中間組織(ここで言うコンサルタント、一般的にコーディネーター)の存在が大きい。この存在がプログラム遂行時の趣旨や意義を、特に現場サイドに理解してもらうために動き、また産業界のニーズを学校につなげる役割を担っている。

◆次年度以降の放課後プログラムに関しては、長い目で見てせつかくできたつながりや取り組みを考えると、コーディネーター(コンサルタント)の人的費もしくはコーディネート費の確保、または現場でのプログラム予算の拡大が大変重要な要素だと言える。

◆上記以外にも、産業界側にメリットがあること、たとえば学校でのPRなどをもっと可能にすることや受益者負担を可能にするなど、現場を含めた学校側の意識改革が求められると考える。

- ◆さらに言えば、企業を評価する中で「CSR（企業の社会的責任）」の部分、社会貢献の度合いが直接、企業評価に結びつくような世の中の仕組みが急がれる。またそういう意識が企業を含め世間全体に広まる必要がある。

2. 他地域での「地域資源活用による放課後子ども教室の活動内容充実」の普及促進のために

(1) 放課後ゆえ、産業界など地域の多様な主体が関われる間口が広い

①放課後子ども教室への関わり方は、仕事や生活の経験を活かして、放課後の子ども達の相手をするということであり、楽しく有意義な時間の提供が基本で、学習効果が厳しく問われるわけではない。

- ・むつ市での漁業関係者の協力、徳島市での山村・都市交流住民組織、デザイン会社の協力を得るに当たっては、当社が「放課後子ども教室とは？」というそもそもの説明から始めた。それでも、いずれの方も、最初から好意的で、「基本的に協力する」というスタンスで応じていただいた。
- ・ただ、説明やお願いの際に留意したのは、当社で想定したプログラムを例として示しながら、先方の事情や都合に合わせて、無理のない範囲でできること、また、ゲストの側でやりたいこと伝えたいことをやっていただくということを重視してプログラムを吟味していったことである。

②教室の側で、地元に関わりのある会社、農協・漁協等団体あるいは名士などを思い浮かべてプログラムを組み立ててみて、行政や保護者も含めて関係者を当たってみると何らかの縁故が見つかるであろう。熱意と誠意を持って人の縁をたどり、子ども達に何かを伝えてほしいとお願いすれば道が開けるはずである。

- ・むつ市での教室については、当社の前年度の活動の中から「みそ貝焼き」を取り上げて「海とホタテ」をテーマにするという基本的な流れは決まったが、この実施にはホタテの生産を担う漁業関係者の協力が不可欠であった。当社としては漁業関係のネットワークがなかったため、前年度の「みそ貝焼き」メニュー開発でお世話になったむつ市川内地区の女性リーダーに相談し、むつ市漁協を紹介いただいた。
- ・徳島市での教室については、産業振興や地域振興調査で当社とネットワークのある二人のキーマンが、山村宿泊体験・交流施設運営、大学非常勤講師という形で元々子どもや教育に関わりのあった方であったので、「放課後の子ども達のため」ということですんなりと理解、賛同が得られた。
- ・世田谷の教室については、放課後NPOのコーディネーターが、「親子料理教室」や「ビジネス戦略コンサルタント会議」に参加した際に、食育及び食ビジネスの分野のネットワーク源といえるような出版社とプロデュース会社の方に出会い、ここから「放課後の子ども達のため」を理解し協力いただける確かなルートへとつながった。

③しかし、ゲスト(放課後の先生)の側で2時間プログラムを組み立てるとなると負担が大きく協力が得られにくい。教室側でプログラムを組み立て、ゲストも楽しめる出番を用意してお願いすることが重要である。

- ・むつ市と徳島の教室については当社が、そして世田谷の教室については放課後NPO

が、それぞれの地域性や子どもの様子を踏まえて放課後子ども教室向けのプログラム原案を作成し「お膳立て」をした上で、ゲスト講師にお願いをした。プログラム原案をもとに、ゲストと情報交換、意見交換を行った上で、ゲストが気楽に気持ちよく楽しめ、そしてゲストが映える出番を意識しながら最終的なプログラムを吟味した。

(2) 互いに無理なく、気持ちよく実施できる内容へとすり合わせを行う

①地域の「子ども達のため」ということに対して、地元企業や地域の名士の方々は「ノー」とは言いにくいであろう。しかし、本業や日常業務以外で手間をとらせるわけであり、相手に「無理のない範囲」が基本であることは当然である。会社や団体で、PRや地域・社会貢献などの窓口があればそこに相談することが早道である。農協・漁協等の場合は、地元組合を通じて県や連合会などにつないでいただくと話しが通りやすいであろう。

- ・むつ市では、地元漁協の方から、小中学校で水産教室などを実施している県の水産普及担当の方を紹介いただき、プランニングから当日の運営まで様々な形で適確な助言や協力を得ることができた。地元漁協の担当者も本業多忙な中で時間を割いて、漁協の仕事やホタテ養殖についての解説、「みそ貝焼き」の材料提供などの形で協力をいただくことができた。

- ・徳島市については、ハーモニーライフクラブ旭の田上代表、(株)アワードの黒河社長のいずれもが組織の代表でかつ業務や活動においても中心となって動いておられる方なので、趣旨に賛同が得られてスケジュールさえ合えば、大きな問題はなく積極的な協力をいただくことができた。

- ・世田谷の教室については、出版社とプロデュース会社という、食に関わる確かなネットワーク源（情報源）をつかむことができたため、子ども対応に意欲的で上手に接していただける適役のゲストを紹介いただくことができた。

②会社・団体等を退職されたOBの方に、人脈を紹介していただいたり、ご自身の経験をもとにプログラムを担当していただくということもよい方法かと思う。

- ・団塊世代の方々が定年退職を迎えており、保護者の親類・縁者や、教室スタッフの先輩、また、教室スタッフ自身に、様々な業種、業界のOBの方がおられるはずである。これらの方に、「放課後の子ども達のために力を貸していただきたい」とお願いしてみると、多様なプログラムの可能性が広がるであろう。

(3) 経費の参加者負担が可能であればプログラムの幅が広がる

①公益企業や大手メーカーなどでPRや社会貢献事業として出前教室を実施可能な場合は、無料教室(企業側が費用負担)となる可能性が高いであろう。しかし、昨今の情勢もありこの例は減る傾向にある。

- ・電力会社やガス会社などは、エコ教室や省エネ教室などの出前教室プログラムが充実している。消防署による安全教室、水道局による水源と水の教室などを放課後子ども

教室に招いた例もある。また、一般紙(新聞)や子ども向け新聞などには、大手メーカーや業界団体等による子ども向け体験教室、工場見学、作文などの募集告知などが掲載されており、この申し込み窓口や問い合わせ先に打診してみれば、放課後子ども教室への出前教室にも応じてもらえる可能性がある。

②材料費(300~500円)程度の参加者負担が可能であれば、今回試行した「海とホタテ教室」「森と木の教室」のほか、様々なモノづくりや食づくりの教室プログラム実施の可能性が高まらばであろう。

- ・『「一ヶ月に一度、ワンコイン」で、いつもと違う『スペシャルお楽しみ教室』を開催するとしたら』というテーマで、教室スタッフ、子ども達そして保護者と話し合ってみてはいかがであろう。参加者負担の目安と、希望プログラムが見えれば、ゲスト候補のリストアップやお願い、交渉がしやすくなるであろう。500円あれば選択肢が広がるであろうが、300円の負担であっても、無償出前教室よりは大幅に受け入れ先が広がるであろうし、教室スタッフもお願いや交渉をしやすくなり、新たなお楽しみプログラム実現の可能性が大きく高まるはずである。

< 参 考 资 料 >

第一回「むつ ほうかご海とホタテ教室」 アンケート

★テストではありません。まちがえてもいいので、じぶんでおもったことをこたえてください。

教室名 (どちらかに○)	1. わくわく教室	2. 勇気ランド子ども教室
男・女 (どちらかに○)	1. 男子 2. 女子	学 年 年 生
日本でたくさんホタテがとれる“とどうふけん”の1位と2位をえらんで、かきこんでください。		
(1位と2位を、 かっこに)	ほっかいどう あおもりけん みやぎけん とうきょうと ひろしまけん	1位() 2位()
「漁協(ぎょきょう)」ということばをきいたことがありましたか？		
(1.2.3.の どれかに○)	1. きいたことがなかった(きょうはじめてきいた) 2. たぶんきいたことがあるとおもう 3. きいたことがあった	
つぎのホタテりょうりのなかで、たべたことがあるものに○をつけてください。		
(たべたことの あるりょうり、 ぜんぶに○)	1. ホタテのさしみ 2. やきホタテ 3. ホタテくしやき 4. ホタテバターやき 5. みそかいやき 6. ホタテごはん 7. ホタテてんぷら 8. ホタテグラタン 9. ホタテサラダ	
うえのホタテりょうりのなかで、「きょう、たべたいな」とおもうりょうりがあれば、したのかっこ のなかにかいてください。		
() () ()		
きょうの教室のかんそうなどをおしえてください。 * おもしろかったことや、つまらなかったこと、もっとしりたい・やりたいとおもったことなど、 なんでもいいのでかいてください。		
①「ぎょきょう」 のけんがくにつ いて		
②「あおもりのう みといきものに ついて」のけん がくやはなしに ついて		
③「ホタテよう しよく」や「ぎょ きょう」につい てのビデオやは なしについ て		
④「しおりづく り」につい て		

第二回「むつ ほうかご海とホタテ教室」 子どもアンケート

2008. 11. 22

★テストではありません。まちがえてもいいので、じぶんでおもったことをこたえてください。

教室名 (どちらかに○)	1. わくわく教室	2. 勇気ランド子ども教室
男・女 (どちらかに○)	1. 男子 2. 女子	学 年 年 生
きょうの教室のかんそうなどをおしえてください。 * おもしろかったことや、つまらなかったこと、もっとしりたい・やりたいとおもったことなど、なんでも いいのでかいてください。		
①「みそかいやき」やホタテリョウりのはなしについて		
②「みそかいやきコンテスト」のはなしについて		
③めいじんの「ビッグみそかいやき」について	* つくっているようすをみてどうおもったかな? たべてみてどうおもったかな?	
④じょせいかいの先生とつくった「マイみそかいやき」について	* じぶんでもつくってみてどうおもったかな? たべてみてどうおもったかな?	
つぎは、どんな教室「[あったらいいな]とおもいますか?		
①ことしあった「海とホタテ教室」がまたあれば、「さんかしたい」とおもいますか?		
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない		
②さかなを見たりきいたり、りょうりをつくる教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか?		
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない		
③きのこ、さんさい、ながいも、そば、にんにくなどを見たり、とったり、りょうりをつくる教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか?		
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない		
④もりや木のこを見たり、きいたり、木のおもちゃをつくったりする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか?		
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない		
⑤そのほか、むつ市のかいしゃやこうじょうのこと、おみせやしよっぱいのこと、じえいたいのことなどについて、ほうかご教室でべんきょうしたり、たいけんしたりできると「いいなとおもうこと」があったら、じゆうにかいてください。		

③第二回「むつ 放課後海とホタテ教室」大人アンケート用紙

第二回「むつ ほうかご海とホタテ教室」 大人アンケート

2008. 11. 22

教室名 (どちらかに○)	1. わくわく教室		2. 勇気ランド子ども教室		
男・女 (どちらかに○)	1. 男性	2. 女性	保護者 スタッフ	1. 保護者 3. その他()	2. スタッフ
日本でホタテの生産量1位と2位の都道府県をお選び下さい。					
(1位と2位を、 かっこに)	北海道 1位()	青森県	宮城県)	東京都 2位()	広島県
青森県産のリンゴの販売額は年間900億円、米は600億円です。 それでは、青森県産のホタテの販売額はどのくらいだと思いますか？					
1. 900億円 2. 600億円 3. 300億円 4. 90億円 5. 60億円					
「みそ貝焼き」を食べたのは？					
1. 今日が初めて 2. この教室のことを知って、試しに食べてみた 3. 前から、たまに食べていた 4. 前からよく食べていた					
「みそ貝焼き」を作ったことはありますか？					
1. 作ったことはない 2. この教室のことを知って、試しに作ってみた 3. 前から、たまに作っていた 4. 前からよく作っていた					
10月27日の第一回教室、本日の第二回教室について、感想、ご意見、注文などお書き下さい。 * 厳しい声こそ、事務局の財産になりますので、何なりとお聞かせ下さい。					
①10月27日：第一回教室について					
②本日11月22日：第二回教室について					
今後、どんな教室が「あったらいいな」とおもいますか？					
①今回のような「海とホタテ教室」がまたあれば、またお子さんを参加させますか？					
1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない					
②ホタテ以外の、魚などの漁業についての教室があれば、お子さんを参加させますか？					
1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない					
③キノコ、山菜、長いも、そば、にんにくなど、農業についてや料理などの教室があれば、お子さんを参加させますか？					
1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない					
④森や木、林業についてや、木のおもちゃづくりなどの教室があれば、お子さんを参加させますか？					
1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない					
⑤その他、むつ市の工業関係、商業関係、観光関係、自衛隊関係など、放課後子ども教室で取り上げてみたらいいのではと思う内容などがありましたら自由にお書き下さい。					

第一回「とくしま とみだ ほうかご森と木の教室」アンケート

★テストではありません。まちがえてもいいので、じぶんでおもったことをこたえてください。

男・女 (どちらかに○)	1. 男子	2. 女子	学 年	年 生
徳島県ぜんたいの広さを100とすると、森林は75くらいの広さです。上勝町では100のうち86が森林です。それでは、徳島市ぜんたいの広さを100とすると、森林(しんりん)はどれくらいの広さでしょうか？				
(どれかに○) 1. 70くらい 2. 50くらい 3. 30くらい 4. 10くらい 5. 5くらい				
徳島市にある工場の中で工場の数が一ばん多いのは、ラーメンやお菓子などの食品を作る工場です。それでは、2ばん、3ばん、4ばん目に数が多いとおもう工場(こうじょう)を下からえらんでください。				
(2,3,4ばんを、かっこに) のみものをつくる 木ざいや板をつくる かぐをつくる くすりをつくる 金ぞくをつくる 2ばん目() 3ばん目() 4ばん目()				
徳島市にある工場(こうじょう)の中で、一ばんお金をかせいでいる工場は、くすりの工場です。それでは、お金をかせいでいる、2ばん、3ばん、4ばん目だとおもう工場を下からえらんでください。				
(2,3,4ばんを、かっこに) 食品をつくる のみものをつくる 木ざいや板をつくる かぐをつくる きかいをつくる 2ばん目() 3ばん目() 4ばん目()				
かみかつ町のことで、今日(きょう)はなしをきく前(まえ)からしていたことに○をつけてください。				
(していたこと ぜんぶに○) 1. いろいろ 2. ゴミゼロ 3. 月がたにおんせん 4. 山のがっこう 5. たかまる山 6. たな田 7. おとりよりの多い 8. おとしよりがげんき				
「木でできていた方がいいな」とおもうものに○をつけてください。				
(いいなと思うものぜんぶに○) 1. かべやゆかが木のいえ 2. かべやゆかが木の教室 3. 木のつくえ 4. 木のいす 5. 木の食器(しょっき) 6. 木のおもちゃ 7. 木の「公園のゆうぐ」 8. 木のベンチ				
「こんなものが木でできたら」おもしろいな、すてきななどおもうものがあつたら、じゆうにかいてください。				
きょうの教室のかんそうなどをおしえてください。【おもしろかったことや、つまらなかったこと、もっとしりたい・やりたいとおもったことなど、なんでもいいのでかいてください。】				
①かみかつ町のビデオについて				
②木をまもる草かりさぎょうについて				
③田うえせんせいの「人と森」のはなしについて				
④木のおもちゃで、すこしあそんだことについて				
⑤黒かわせんせいの「デザイン」や「イス」のはなしについて				

第一回「とくしま 新町小 ほうかご森と木の教室」アンケート

★テストではありません。まちがえてもいいので、じぶんでおもったことをこたえてください。

男・女 (どちらかに○)	1. 男子	2. 女子	学 年	年 生
徳島県ぜんたいの広さを100とすると、森林は75くらいのはらさです。上勝町では100のうち86が森林です。それでは、徳島市ぜんたいの広さを100とすると、森林(しんりん)はどれくらいのはらさでしょうか？				
(どれかに○) 1. 70くらい 2. 50くらい 3. 30くらい 4. 10くらい 5. 5くらい				
徳島市にある工場の中で工場のがーばん多いのは、ラーメンやお菓子などの食品を作る工場です。それでは、2ばん、3ばん、4ばん目に数が多いとおもう工場(こうじょう)を下からえらんでください。				
(2.3.4ばんを、かっこに) のみものをつくる 木ざいや板をつくる かぐをつくる くすりをつくる 金ぞくをつくる 2ばん目() 3ばん目() 4ばん目()				
徳島市にある工場(こうじょう)の中で、ーばんお金をかせいでいる工場は、くすりの工場です。それでは、お金をかせいでいる、2ばん、3ばん、4ばん目だとおもう工場を下からえらんでください。				
(2.3.4ばんを、かっこに) 食品をつくる のみものをつくる 木ざいや板をつくる かぐをつくる きかいをつくる 2ばん目() 3ばん目() 4ばん目()				
かみかつ町のことで、今日(きょう)はなしをきく前(まえ)からしっていたことに○をつけてください。				
(しっていたこと ぜんぶに○) 1. いろいろ 2. ゴミゼロ 3. 月がたにおんせん 4. 山のがっこう 5. たかまる山 6. たな田 7. おとりよが多い 8. おとしよりがげんき				
「木でできていた方がいいな」とおもうものに○をつけてください。				
(いいなと思うものぜんぶに○) 1. かべやゆかが木のいえ 2. かべやゆかが木の教室 3. 木のつくえ 4. 木のいす 5. 木の食器(しょっき) 6. 木のおもちゃ 7. 木の「公園のゆうぐ」 8. 木のベンチ				
「こんなものが木でできたら」おもしろいな、すてきだなとおもうものがあつたら、じゆうにかいてください。				
きょうの教室のかんそうなどをおしえてください。【おもしろかったことや、つまらなかつたこと、もつとしりたい・やりたいとおもつたことなど、なんでもいいのでかいてください。】				
①かみかつ町のビデオについて				
②木をまもる草かりさぎょうについて				
③田うえせんせいの「人と森」のはなしについて				
④木のおもちゃで、すこしあそんだことについて				
⑤黒かわせんせいの「デザイン」や「イス」のはなしについて				

2008. 12. 04

第二回「とくしま とみだ ほうかご森と木の教室」子どもアンケート

★テストではありません。まちがえてもいいので、じぶんでおもったことをこたえてください。

男・女	1. 男子	2. 女子	学 年	年 生
きょうの教室のかんそうなどをおしえてください。 * おもしろかったことや、つまらなかったこと、もっと知りたい・やりたいとおもったことなど、なんでもいいのでかいてください。				
①「カニさん たけざいく」づくりについて				
②「スギのちょきんばこ」づくりについて				
つぎは、どんな教室があったら、「さんかしたい」とおもいますか？				
①ことしあった「森と木の教室」がまたあれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
②かみかつ町や高まる山まで出かける「森と木の教室」があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
③家具(かぐ)や、柱(はしら)や板(いた)など家(いえ)の部品(ぶひん)を作る(つくる)工場(こうじょう)について、勉強(べんきょう)や体験(たいけん)をする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
④すだち、みかん、きのこ、さんさいなどを見たりきいたり、料理(りょうり)を作(つく)る教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑤海(うみ)のことや魚(さかな)や貝(かい)を見たりきいたり、料理(りょうり)を作(つく)る教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑥食品(しょくひん: たべもの)や飲料(いんりょう: のみもの)や薬(くすり)の工場(こうじょう)について、勉強(べんきょう)や体験(たいけん)をする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑦LED(エルイーディー)などの電気製品(でんきせいひん)や機械(きかい)などについて、勉強(べんきょう)や体験(たいけん)をする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑧パソコンで年賀状(ねがじょう)や名刺(めいし: 自分(じぶん)を紹介(しょうかい)するカード)などを作(つく)ったりする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑨商店街(しょうてんがい)や店(みせ)や商売(しょうばい)のことについて、勉強(べんきょう)や体験(たいけん)をする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑩そのほか、とくしま市の会社(かいしゃ)や工場(こうじょう)のこと、お店(みせ)や商売(しょうばい)のことなどについて、ほうかご教室で勉強(べんきょう)したり、体験(たいけん)したりできると「いいなおもうこと」があったら、じゅうにかいてください。				

⑦第二回「とくしま 新町小 放課後森と木の教室」子どもアンケート用紙

2008. 12. 05

第二回「とくしま 新町小 ほうかご森と木の教室」子どもアンケート

★テストではありません。まちがえてもいいので、じぶんでおもったことをこたえてください。

男・女	1. 男子	2. 女子	学 年	年 生
きょうの教室のかんそうなどをおしえてください。 * おもしろかったことや、つまらなかったこと、もっと知りたい・やりたいとおもったことなど、なんでもいいのでかいてください。				
①「カニさん たけざいく」づくりについて				
②「スギのちょきんぱこ」づくりについて				
つぎは、どんな教室があったら、「さんかしたい」とおもいますか？				
①ことしあった「森と木の教室」がまたあれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
②かみかつ町や高まる山まで出かける「森と木の教室」があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
③家具(かぐ)や、柱(はしら)や板(いた)など家(いえ)の部品(ぶひん)を作る(つくる)工場(こうじょう)について、勉強(べんきょう)や体験(たいけん)をする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
④すだち、みかん、きのこ、さんさいなどを見たりきいたり、料理(りょうり)を作(つく)る教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑤海(うみ)のことや魚(さかな)や貝(かい)を見たりきいたり、料理(りょうり)を作(つく)る教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑥食品(しょくひん: たべもの)や飲料(いんりょう: のみもの)や薬(くすり)の工場(こうじょう)について、勉強(べんきょう)や体験(たいけん)をする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑦LED(エルイーディー)などの電気製品(でんきせいひん)や機械(きかい)などについて、勉強(べんきょう)や体験(たいけん)をする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑧パソコンで年賀状(ねがじょう)や名刺(めいし: 自分(じぶん)を紹介(しょうかい)するカード)などを作(つく)ったりする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑨商店街(しょうてんがい)や店(みせ)や商売(しょうばい)のことについて、勉強(べんきょう)や体験(たいけん)をする教室があれば、「さんかしたい」とおもいますか？				
1. とてもさんかしたい 2. まあまあさんかしたい 3. あまりさんかしたくない 4. さんかしたくない				
⑩そのほか、とくしま市の会社(かいしゃ)や工場(こうじょう)のこと、お店(みせ)や商売(しょうばい)のことなどについて、ほうかご教室で勉強(べんきょう)したり、体験(たいけん)したりできると「いいなおもうこと」があったら、じゅうにかいてください。				

第二回「とくしま とみだ ほうかご森と木の教室」大人アンケート

男・女	1. 男性	2. 女性	保護者・スタッフ	1. 保護者	2. スタッフ	3. その他()
徳島県の面積に占める森林面積は75%です。上勝町では86%が森林です。 それでは、徳島市の面積に占める森林面積の割合はどれくらいでしょうか？ (どれかに○) 1. 約70% 2. 約50% 3. 約30% 4. 約10% 5. 約5%						
徳島市にある工場の中で工場数が一番多いのは、ラーメンやお菓子などの食品を作る工場です。 それでは、2番、3番、4番目に数が多いと思う工場を下から選んでください。 (2,3,4番目を、かつこに) 飲料の工場 木材や板の工場 家具の工場 薬品の工場 金属の工場 2番目() 3番目() 4番目()						
徳島市にある工場の中で、もっとも売上が多い工場は、薬品の工場です。 それでは、売上が多い、2番、3番、4番目だと思う工場を下から選んで下さい。 (2,3,4番目を、かつこに) 食品の工場 飲料の工場 木材や板の工場 家具の工場 機械の工場 2番目() 3番目() 4番目()						
上勝町のことで、この「森と木の教室」のことを聞く前から知っていたことに○をつけて下さい。 (知っていたこと 全部に○) 1. いろいろ 2. ゴミゼロ 3. 月ヶ谷温泉 4. 山の楽校 5. 高丸山 6. 棚田 7. お年寄が多い 8. お年寄がげんき						
11月13日の第一回教室、本日の第二回教室について、感想、ご意見、注文などお書き下さい。 * 厳しい声こそ、事務局の財産になりますので、何なりとお聞かせ下さい。						
①11月13日：第一回教室について						
②本日12月4日：第二回教室について						
今後、どんな教室があったら、お子さんを「参加させたい」とおもいますか？						
①今年あった「森と木の教室」がまたあれば、「参加させたい」と思いますか？ 1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない						
②上勝町や高丸山まで出かける「森と木の教室」があれば、「参加させたい」と思いますか？ 1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない						
③家具製造や、壁、床等住宅部品製造をテーマとする教室があれば、「参加させたい」と思いますか？ 1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない						
④すだち他、農業について学んだり、料理を作る教室があれば、「参加させたい」と思いますか？ 1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない						
⑤海や漁業について学んだり、料理を作る教室があれば、「参加させたい」と思いますか？ 1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない						
⑥食品や飲料や薬品の製造をテーマとする教室があれば、「参加させたい」と思いますか？ 1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない						
⑦LED等の電機や機械などの製造をテーマとする教室があれば、「参加させたい」と思いますか？ 1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない						
⑧パソコンで年賀状や名刺などを作ったりする教室があれば、「参加させたい」と思いますか？ 1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない						
⑨商店街や商売のことをテーマとする教室があれば、「参加させたい」と思いますか？ 1. とても参加させたい 2. まあ参加させたい 3. あまり参加させたくない 4. 参加させたくない						
⑩その他、徳島市の工業関係、商業関係、観光・まつり関係などで、放課後子ども教室で取り上げてみたい いのではないと思う内容などがありましたら自由にお書き下さい。						

第二回「とくしま 新町小 ほうかご森と木の教室」大人アンケート

男・女	1. 男性	2. 女性	保護者・スタッフ	1. 保護者	2. スタッフ	3. その他()
徳島県の面積に占める森林面積は75%です。上勝町では86%が森林です。 それでは、徳島市の面積に占める森林面積の割合はどれくらいでしょうか？ (どれかに○)						
1. 約70%						
2. 約50%						
3. 約30%						
4. 約10%						
5. 約5%						
徳島市にある工場の中で工場数が一番多いのは、ラーメンやお菓子などの食品を作る工場です。 それでは、2番、3番、4番目に数が多いと思う工場を下から選んでください。						
(2,3,4番目を、						
飲料の工場						
木材や板の工場						
家具の工場						
薬品の工場						
金属の工場						
かっここに) 2番目() 3番目() 4番目()						
徳島市にある工場の中で、もっとも売上が多い工場は、薬品の工場です。 それでは、売上が多い、2番、3番、4番目だと思える工場を下から選んで下さい。						
(2,3,4番目を、						
食品の工場						
飲料の工場						
木材や板の工場						
家具の工場						
機械の工場						
かっここに) 2番目() 3番目() 4番目()						
上勝町のことで、この「森と木の教室」のことを聞く前から知っていたことに○をつけて下さい。						
(知っていたこと						
全部に○)						
1. いろいろ						
2. ゴミゼロ						
3. 月ヶ谷温泉						
4. 山の楽校						
5. 高丸山						
6. 棚田						
7. お年寄が多い						
8. お年寄がげんき						
11月14日の第一回教室、本日の第二回教室について、感想、ご意見、注文などお書き下さい。 * 厳しい声こそ、事務局の財産になりますので、何なりとお聞かせ下さい。						
①11月14日：第一回教室について						
②本日12月5日：第二回教室について						
今後、どんな教室があつたら、お子さんを「参加させたい」とおもいますか？						
①今年あつた「森と木の教室」がまたあれば、「参加させたい」と思いますか？						
1. とても参加させたい						
2. まあ参加させたい						
3. あまり参加させたくない						
4. 参加させたくない						
②上勝町や高丸山まで出かける「森と木の教室」があれば、「参加させたい」と思いますか？						
1. とても参加させたい						
2. まあ参加させたい						
3. あまり参加させたくない						
4. 参加させたくない						
③家具製造や、壁、床等住宅部品製造をテーマとする教室があれば、「参加させたい」と思いますか？						
1. とても参加させたい						
2. まあ参加させたい						
3. あまり参加させたくない						
4. 参加させたくない						
④すだち他、農業について学んだり、料理を作る教室があれば、「参加させたい」と思いますか？						
1. とても参加させたい						
2. まあ参加させたい						
3. あまり参加させたくない						
4. 参加させたくない						
⑤海や漁業について学んだり、料理を作る教室があれば、「参加させたい」と思いますか？						
1. とても参加させたい						
2. まあ参加させたい						
3. あまり参加させたくない						
4. 参加させたくない						
⑥食品や飲料や薬品の製造をテーマとする教室があれば、「参加させたい」と思いますか？						
1. とても参加させたい						
2. まあ参加させたい						
3. あまり参加させたくない						
4. 参加させたくない						
⑦LED等の電機や機械などの製造をテーマとする教室があれば、「参加させたい」と思いますか？						
1. とても参加させたい						
2. まあ参加させたい						
3. あまり参加させたくない						
4. 参加させたくない						
⑧パソコンで年賀状や名刺などを作ったりする教室があれば、「参加させたい」と思いますか？						
1. とても参加させたい						
2. まあ参加させたい						
3. あまり参加させたくない						
4. 参加させたくない						
⑨商店街や商売のことをテーマとする教室があれば、「参加させたい」と思いますか？						
1. とても参加させたい						
2. まあ参加させたい						
3. あまり参加させたくない						
4. 参加させたくない						
⑩その他、徳島市の工業関係、商業関係、観光・まつり関係などで、放課後子ども教室で取り上げてみたいのではと思う内容などがありましたら自由にお書き下さい。						

アンケートに答えてね!

参加人数 58名
有効回答 48名

____年生

1、みんながいつも食べている、たべものについて、きょうみがわきましたか?

とてもきょうみがわいた 16 すこしきょうみがわいた 23
あまりきょうみがわかなかった 6 まったくきょうみがわかなかった 2

無回答 1

2、きょう、かんじたことをおしえてください。

「固まったところがたのしかった」「おいしかった」「しょうゆがあればよかった」
「豆乳がまずかった」「豆腐がまずかった」「大変だった」「つまらなかった」
「にがりも汁だけどなぜ固まるのか知りたい」「おからがチースっぽかった」
「信じられない、びっくり」「くさかった」
「作ったことがなかったのでおもしろかった」「重さをはかりたかった」

3、これから、たべものをどうしようとおもいますか?

「すてたらかったくない」「粗末にしない」
「野菜を育ててみたい」「料理を作ってみたい」「おから料理をしてみたい」

4、きょうみたいなプログラムがあったら、またさんかしたいですか?

とてもさんかしたい 23 まあまあさんかしたい 9
あまりさんかしたくない 3 さんかしたくない 4

無回答 9

5、ようふくをつくったり、いろをえらんだりするプログラムがあったらさんかしてみたいですか?

とてもさんかしたい 23 まあまあさんかしたい 4
あまりさんかしたくない 9 さんかしたくない 1

無回答 11

6、いえをつくったりペンキをぬったりするプログラムがあったらさんかしてみたいですか?

とてもさんかしたい 22 まあまあさんかしたい 8
あまりさんかしたくない 7 さんかしたくない 2

無回答 9

ありがとうございました!

アンケートに答えてね!

参加人数 10名
有効回答 10名

_____年生

1、みんながいつも食べている、たべものについて、きょうみがわきましたか?

とてもきょうみがわいた	9	すこしきょうみがわいた	1
あまりきょうみがわかなかった		まったくきょうみがわかなかった	

2、きょう、かんじたことをおしえてください。

「たのしかった!」「おもしろかった」
「勉強できて、うれしい」「ほとんどの国がいっぱい食べてた」
「いろいろなところで、いろいろな物を食べている人がいる」
「何もしていないときがヒマ」

3、にほんとかいこくで、なにがちがいましたか?

「いろいろ」「食べる量」「たべるもののちがい」
「たべものと家!」「多さ」「食べ物の入れ物がちがった」
「一週間に食べる食べもののりょう」

4、きょうみたいなプログラムがあったら、またさんかしたいですか?

とてもさんかしたい	9	まあまあさんかしたい	1
あまりさんかしたくない		さんかしたくない	

5、ようふくをつくったり、いろをえらんだりするプログラムがあったらさんかしてみたいですか?

とてもさんかしたい	10	まあまあさんかしたい	
あまりさんかしたくない		さんかしたくない	

6、いえをつくったりペンキをぬったりするプログラムがあったらさんかしてみたいですか?

とてもさんかしたい	10	まあまあさんかしたい	
あまりさんかしたくない		さんかしたくない	

ありがとうございました!